

特定非営利活動法人  
とよなか市民環境会議アジェンダ 21  
2010年度（平成22年度）総会  
議案書

と き 2010年6月16日（水）15時30分より  
ところ 豊中市立市民会館 大集会室

**特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21  
2010 年度（平成 22 年度）総会**

**次 第**

1. 開会
2. 理事長挨拶                    理事長                    新開悦子
3. 来賓挨拶                    豊中市長                浅利敬一郎様  
                                      豊中市議会議員        喜多正顕様
4. 議長の選任
5. 議事録署名人の選任
6. 総会定足数の確認
7. 議案
  - 事業報告
    - 第 1 号議案   2009 年度（平成 21 年度）事業報告について
    - 第 2 号議案   同収支決算報告について
    - 第 3 号議案   同監査報告について
  - 事業計画
    - 第 4 号議案   2010 年度（平成 22 年度）事業計画について
    - 第 5 号議案   同収支予算書について
  - その他
    - 第 6 号議案   役員を選任について
8. 議長の解任
9. 閉会

**議案書目次**

2009 年度（平成 21 年度）事業報告 .....	1
2009 年度（平成 21 年度）収支計算書 .....	44
2009 年度（平成 21 年度）貸借対照表 .....	45
2009 年度（平成 21 年度）財産目録 .....	46
2009 年度（平成 21 年度）監査報告 .....	47
2010 年度（平成 22 年度）事業計画（案） .....	48
2010 年度（平成 22 年度）収支予算書（案） .....	62
新役員名簿（案） .....	63
定款 .....	64
「豊中アジェンダ 21」88 項目の行動提案 .....	71

# 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 2009 年度（平成 21 年度）事業報告

## 1. 全体のふりかえり

2009 年度は、『これまでの活動総括と、次へ向けたさらなる広がりへの推進』という全体方針を掲げて活動を進めました。

1999 年に市民・事業者・行政の行動計画として 101 項目の「豊中アジェンダ 21」が策定されて 10 年が経過し、2009 年度から「第 2 次豊中アジェンダ 21」の策定を開始しました。「第 2 次豊中アジェンダ 21」の策定主体はとよなか市民環境会議ですが、当法人からも策定委員会へ委員を選出するとともに、策定委員会の事務局を担いました。また、「豊中アジェンダ 21」は「豊中市環境基本計画」と理念や望ましい環境像、環境目標などを一致させ、車の両輪のように位置づけてきましたが、第 2 次策定においても、それらを共有することとなります。共有する望ましい環境像のアイデアについては、2009 年度に市民ワークショップを開催し、広く市民から意見を集めました。当法人では豊中市と協働で市民ワークショップの事務局も担いました。

当法人のこれまでの活動総括としては、2007 年から取り組み始めた「協働の方程式」（10 年のあゆみ）の編集作業に取り組み、第 2 次の策定以降の活動に活かしていくことができるよう、これまでの経験や蓄積、課題をまとめています。

当法人の活動としては、次のステップに向けて活動の広がりをさらに推し進めました。生活部会では、豊中市の太陽光発電の設備補助金を受けたモニターなどが増え、1 年間のモニター数が初めて 200 人を超えました。自然部会では、「写真による豊中の“むし”調べ」で“むし”を対象に初めて調査を行い、1,578 個体、316 種の記録を集めました。事業部会では、社会実験として始めた機密書類リサイクルを 2009 年度から本格実施し、事業者だけでなく市民の参加希望者も募って定期的に取り組み始めました。交通部会では、大阪府のバスエコキャンペーンに初めて協力しました。竹炭プロジェクトでは、竹の間伐作業を 20 回行い、間伐した竹の本数が当初からの通算で 1 万本以上になりました。企画屋本舗では、「親子で楽しくエコツアー」において、前年度に取り組みなかったテーマで実施しました。花と緑のネットワークとよなかでは、独自にパナソニック NPO サポートファンドの助成を受け、次へ向けた組織の基盤強化に取り組みました。地球温暖化対策プロジェクトでは、豊中市や市内の関係事業者と連携して、街角での省エネ相談会などのモデル事業を行い、多くの市民を巻き込みました。

また、組織としては、定額給付金の支給に伴ったキャンペーンの展開、環境展の開催に伴って協賛金やカンパの実施、活動経費の節約など、財政面でより安定した運営をめざした結果、3 年ぶりに単年度黒字の結果となりました。一方、会員数やホームページアクセス数の増加は課題を残しました。

## 2. 全体活動

### (1) NPO 法人運営

#### ア 会員の状況

2010 年 3 月 31 日現在の会員数は以下の通りです。

	正会員	賛助会員	合計
個人	143 人	6 人	149 人
団体	35 団体	1 団体	36 団体

2002年6月に「豊中アジェンダ21推進会」として設立して以降の年度ごとの会員数は以下の通りです。個人会員、団体会員ともにほぼ横ばいです。

年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
個人	110人	115人	121人	139人	137人	140人	153人	149人
団体	31団体	38団体	41団体	44団体	44団体	40団体	36団体	36団体

#### イ 会費増額キャンペーン・定額給付金キャンペーン

定額給付金が支給されるのに伴い、2つのキャンペーンを行い、多くの方から協力を得ました。

会費増額キャンペーンは、個人会員のうち4月～6月の期間中に複数口の会費納入をした方には、オリジナル缶バッチをプレゼントしました。

定額給付金キャンペーンは、会員を問わず広く寄付を呼びかけ、寄付額に応じて当法人に関連するもの（竹炭やとよっぴーの無料券など）をプレゼントしました。

名前	対象	期間	内容	結果
会費増額キャンペーン	個人正会員	4月1日～ 6月30日	会費の複数口納入で缶バッチプレゼント	複数口納入 80人
定額給付金キャンペーン	会員問わず		寄付額に応じて、当法人に関連するものプレゼント	11人から 67,000円の寄付

#### ウ 総会の開催

2009年度の通常総会を以下の通り開催し、すべての議案が提案どおり承認されました。

当日はNPO法人総会に先立ち、「地域に根ざした環境のまちづくり」と題した、堤幸一さん（京都造形芸術大学・京都精華大学講師、NPO法人カーボンシンク事務局長）による講演会と、とよなか市民環境会議の総会が行われました。

日時 2009年6月17日（水）15時30分～16時25分

場所 豊中市立市民会館 大集会室

出席者 137人（内委任状69人、当日の会員数187人）

来賓 豊中市長 浅利敬一郎さん、豊中市議会議長 飯田武丸さん

議長 伊藤陽一郎さん

議事録 署名人：新開悦子さん（理事長）、山下早苗さん 作成：中村義世さん

議案 事業報告

第1号議案 2008年度（平成20年度）事業報告について

第2号議案 同収支決算報告について

第3号議案 同監査報告について

事業計画

第4号議案 2009年度（平成21年度）事業計画について

第5号議案 同収支予算書について

#### エ 理事会

理事会は基本的に隔月の第4月曜日に開催しています。理事会を開催しない月は理事協議会を開催しています。

また、3月23日の理事会にて、井上和彦さんを2010年4月1日より副理事長から理事とすることを決定しました。

開催日	主な議題	出席者数
5月25日	総会／議案書／第2次豊中アジェンダ21／各種申請書類	12人
6月2日	総会／議案書	10人
7月27日	豊中まつり／第2次豊中アジェンダ21／環境展／ESD	11人
9月28日	第2次豊中アジェンダ21／環境展	9人
11月24日	環境展／第2次豊中アジェンダ21	12人
1月25日	事務局職員の退職と新規採用／第2次豊中アジェンダ21	12人
2月22日	事務局職員の採用／第2次豊中アジェンダ21／交通部会／今年度報告と次年度計画／リーフレット	11人
3月23日	副理事長の選任／事務局の職務分担／第2次豊中アジェンダ21／今年度報告と次年度計画／リーフレット	9人
合計	8回	86人

#### 理事協議会

開催日	主な内容	出席者数
4月27日	キャンペーン／市職員協力依頼／総会／議案書／第2次豊中アジェンダ21／共催イベント／事務局からの確認	11人
6月22日	総会／キャンペーン／負担金／第2次豊中アジェンダ21	11人
8月24日	サロン片付け／サロン当番／ホームページ／環境展	12人
10月26日	サロン片付け／ホームページ／バスエコキャンペーン／各種イベント／環境展	12人
12月21日	環境展／助成金の応募／リーフレット	11人
合計	5回	57人

#### オ インターンシップの受け入れ

事務局では大学からのインターンシップ研修を受け入れています。2009年度は豊中市職員研修所を通じて2名を受け入れました。

大学名	学部・学科・専攻など	期間	日数	人数
大阪経済大学	人間科学部	8月17日～28日	10日間	1人
梅花女子大学	文化表現学部	9月2日～15日	10日間	1人

#### (2) 環境情報サロンの運営

豊中市の施設である「環境情報サロン」の運営を当法人が市から受託し、法人の事務局を置いています。

開館日 月曜日～金曜日（年末年始、土曜日、日曜日、休日は閉館）

開館時間 午前10時～午後4時

施設概要

- ・環境関連の図書・雑誌やビデオ、各種情報誌等の閲覧コーナー
- ・パソコンによる環境情報の閲覧コーナー
- ・環境啓発に関する各種催し

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来館者数	336人	258人	320人	300人	508人	292人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来館者数	424人	314人	320人	244人	285人	252人

年度	2004年度 (6～3月)	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
来館者数	1,986人	3,425人	3,892人	3,634人	3,769人	3,853人

年間の来館者数はゆるやかに増加しつつあります。

なお、2007年度より環境情報サロンにて、「おもちゃ病院」を偶数月の第2土曜日に開催しています。2009年度は、4月11日、6月14日、8月8日、10月10日、12月12日（とよなか市民環境展の会場にて）、2月13日の6回開催しました。

なお、環境情報サロンは、2005年度から2006年度の「おおさかレインボウふるじえくと！」で雨水タンクを、2008年3月から「エコSUN市民発電」で太陽光パネルを設置するなど、環境配慮型設備の維持管理、活用を図っています。

### (3) 「第2次豊中アジェンダ21」の策定

#### ア 策定委員会

「第2次豊中アジェンダ21」が策定されるにあたり、策定委員会を開催し、「第2次環境基本計画」と共有する「望ましい環境像」や「環境目標」、88項目の行動提案などについて議論してきました。「第2次豊中アジェンダ21」の策定主体はとよなか市民環境会議ですが、策定委員会へは当法人の各部会から3人選出するとともに、事務局を担いました。

開催日	主な内容	場所
7月8日(水)	豊中アジェンダ21について／第2次豊中アジェンダ21策定の進め方／市民ワークショップ	環境情報サロン
8月11日(火)	第2次豊中アジェンダ21の策定工程／豊中の「望ましい環境像」／第2次環境基本計画の作成(情報提供)	花とみどりの相談所
9月3日(火)	「望ましい環境像」／環境フォーラム	花とみどりの相談所
10月16日(火)	環境フォーラムの報告／「望ましい環境像」／市民ワークショップと今後の進め方	花とみどりの相談所
11月13日(金)	「望ましい環境像」	花とみどりの相談所
12月3日(木)	「望ましい環境像」	花とみどりの相談所
1月14日(木)	「環境目標」	花とみどりの相談所
2月17日(水)	「環境目標」、「緑被率とみどり率」／「行動提案」	花とみどりの相談所
3月17日(水)	今後の進め方／「環境目標」／「行動提案」	花とみどりの相談所

#### イ 市民ワークショップ

当法人と豊中市環境政策室が協働して、市民ワークショップを行いました。第1回～第7回は市内各地で「豊中の環境の現状」「望ましい将来像」について考えるワークショップを行いました。ワークショップで出たアイデアや意見は集約し、策定委員会の場で議論を深めました。

第8回からは、これまでにない新しい事業プロジェクトに取り組むことに向けたワークショップを行うとともに、市内のいくつかの団体にヒアリングを行いました。

回	日時	内容	場所	参加者数	備考
1	5月26日(火)	「豊中の環境の現状」「望ましい将来像」を考えるワーク	豊中市役所	12人	
2	6月28日(日)		庄内公民館	9人	

3	7月28日(火)	シヨップ	大阪大学豊中キャンパス	24人	大阪大学生対象
4	7月30日(木)		堀田会館	13人	
5	8月5日(水)		リサイクル交流センター	13人	
6	8月25日(火)		泉丘小学校コミュニティルーム	7人	
7	9月12日(土)		千里公民館	29人	環境フォーラム
8	10月16日(火)	88項目の行動提案をみつめなおすワークショップ	豊中市役所	21人	
	12月17日(木)	ヒアリング (株)関西スーパーマーケット	関西スーパーマーケット本社(伊丹市)		
	1月8日(金)	ヒアリング NPO法人ユニバーサルデザイン推進協会(ゆにばっぷ)	ゆにばっぷ事務所		
	2月15日(月)	ヒアリング 赤ちゃんからのESD	ひがしまち街角広場		
9	3月18日(木)	新たな取り組みを考えるワークショップ	豊中市役所	9人	
合計			9回	137人	

#### (4)「協働の方程式」(10年のあゆみ)の作成

2006年度より、1996年に設立した「とよなか市民環境会議」の10年の総括を行い、書籍として出版する取り組みを行っています。これまでに実施してきたアンケートやヒアリングの結果も踏まえ、2009年度も出版に向けた編集会議を行いました。

実施日	内容	場所	参加者数
4月8日(水)	編集会議	環境情報サロン	7人
4月20日(月)	編集会議	環境情報サロン	7人
5月14日(木)	編集会議	環境情報サロン	3人
5月29日(金)	編集会議	環境情報サロン	5人
6月23日(火)	編集会議	環境情報サロン	6人
6月26日(金)	編集会議	環境情報サロン	7人
7月13日(月)	編集会議	環境情報サロン	6人
8月10日(月)	編集会議	環境情報サロン	7人
8月20日(木)	過去の「広報とよなか」の記事検索	市役所	2人
8月25日(火)	過去の「広報とよなか」の記事検索	市役所	2人
9月8日(火)	過去の「広報とよなか」の記事検索	市役所	2人
9月14日(月)	編集会議	環境情報サロン	8人
9月30日(水)	編集会議	環境情報サロン	7人
11月20日(金)	編集会議	環境情報サロン	7人
1月20日(水)	編集会議	環境情報サロン	7人
1月28日(木)	編集会議	環境情報サロン	7人

2月25日(木)	編集会議	環境情報サロン	7人
3月19日(木)	編集会議	環境情報サロン	6人
合計	18回		103人

## (5) とよなか市民環境展 2009 の開催

### ア 概要

テーマ：－25%！ 未来を変える一歩に

日時：2009年12月11日(金)、12日(土) 両日とも10時～16時

場所：豊中市立市民会館（大ホール、大集会室、ホワイエ、地下会議室、和室、屋外）  
豊中市立中央公民館（1階フロア、入口前）

主催：NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21

共催：とよなか市民環境会議、豊中市、豊中市教育委員会、豊中市立中央公民館

後援：環境省近畿地方環境事務所

### イ 内容

#### 《両日開催したイベント》

- ・出展団体による展示・体験
- ・子ども体験コーナー（展示、体験、子ども向けクイズ）【会議室1】
- ・自然工作【会議室2】
- ・滋賀県甲賀の間伐材利用コーナー【会議室2】
- ・おもしろ自転車の試乗【屋外】
- ・電気自動車の展示【屋外】
- ・天然ガス自動車の展示【屋外】
- ・機密書類シュレッダー車の展示・実演【屋外】
- ・電動バイクの展示【屋外】
- ・竹炭・竹酢液の頒布【11日：大集会室前ホワイエ・12日：屋外】
- ・小中学校の展示【中央公民館】
- ・リユースコーナー（12日14:30～抽選）【中央公民館】
- ・スタンプラリー【各会場9ヶ所】
- ・エコポイントチケット「とよか」がもらえるイベント  
省エネ相談会【大集会室前ホワイエ】  
使用済み天ぷら油回収【11日：大集会室前ホワイエ・12日：大ホール前ホワイエ】  
電車・バスをのりこみの来場【大集会室前ホワイエ】  
エコライフミニチェック【大集会室前ホワイエ】

#### 《11日のみ開催したイベント》

- ・学べる屋台【大ホール前ホワイエ】
- ・出展・参加団体交流タイム（16:10～17:00、開催時間後）【大集会室】

#### 《12日のみ開催したイベント》

- ・未来の森づくり体験（どんぐりの植え付け）【会議室2】
- ・低公害バスの展示・子供用制服貸出しによる写真撮影【屋外】
- ・自転車バランス王座決定戦（11:00～、13:00～）【屋外】



- ・おもちゃ病院（10:00～12:00）【大ホール前ホワイエ】
- ・BDF 燃料精製機の展示【大ホール前ホワイエ】
- ・飲食コーナー（リユース食器使用）  
キーマカレー、やきそば【屋外】  
オーガニック喫茶、わたがし、しじみ汁【大ホール前ホワイエ】
- ・販売コーナー  
とよっぴー、とよっぴーで作った野菜【屋外】  
図書館リサイクル本【大ホール前ホワイエ】、リユース品販売【大集会室前ホワイエ】

※同時開催イベント

- ・市民文化祭 12日 13:00～17:00【市民会館大ホール】  
主催：市民文化祭実行委員会
- ・私に取り組んでいるエコな活動発表・展示と交流  
主催：中央公民館【中央公民館】  
展示（11日、12日 10:00～16:00）  
井戸端会議（11日 10:00～11:30）  
こども達も加わって井戸端会議（12日 10:00～11:30）
- ・エコ工房【中央公民館】  
主催：豊中市環境政策室、エコミン  
カフェ（11日、12日 11:00～16:00）  
交流タイム（11日 11:00～11:30、12日 13:30～14:00）

ウ 参加者数等

- ・参加者数：約 3,300 人（出展団体関係者・来場者含む 2 日間のべ人数）
- ・学校参加数：12 校
- ・参加団体数：50 団体

エ 出展団体説明会

回	実施日	主な内容	場所	参加者数
1	10月26日（月） 19:00～20:30	全体の概要／出展要領／提出物／スケジュール／昨年の様子／ワンコインカンパ	豊中市役所第二庁舎 3階大会議室	19人
2	12月1日（火） 19:00～20:30	全体の企画内容・配置／搬入・準備・撤収／当日の運営・安全管理・注意事項／今後のスケジュール	豊中市役所第二庁舎 3階大会議室	26人
合計		2回		45人

オ プロジェクト会議（NPO 法人アジェンダ 21+豊中市環境政策室）

実施日	内容	参加者数
9月9日	第1回プロジェクト会議	9人
9月24日	第2回プロジェクト会議	10人
10月2日	プロジェクト広報会議	3人
10月5日	プロジェクト企画会議	4人
10月5日	プロジェクト学校会議	3人

10月15日	プロジェクト広報会議	3人
10月15日	プロジェクト企画会議	4人
10月20日	プロジェクト広報会議	3人
10月21日	第3回プロジェクト会議	10人
11月19日	第4回プロジェクト会議	8人
11月19日	プロジェクト学校会議	3人
12月1日	プロジェクト学校会議	3人
1月12日	第5回プロジェクト会議	10人
合計	13回	73人

## (6) エコSUN 市民発電（市民共同発電）事業

### ア 活動状況

実施日	内容	参加者数
7月8日（水）	寄付者への年次報告書の送付	—
8月3日（月）13:30～15:00	第3回しみん共同発電事業実行委員会（年次報告）	7人

### イ 発電状況

2009年度の自給率は平均で25%でした。設置場所の関係もあり発電量は限界があります。他方、2009年度の売電収入は8,072円でした。太陽光発電の買い取り価格制度が変更され、価格が倍額の48円（1kw）となりました。その結果、昨年12月から変更価格による収入となっています。

月	発電積算（A）	消費積算（B）	売電	買電	自給率 （A）／（B）
4月	160 kwh	519 kwh	27 kwh	386 kwh	31%
5月	153 kwh	488 kwh	34 kwh	369 kwh	31%
6月	169 kwh	491 kwh	28 kwh	350 kwh	34%
7月	145 kwh	492 kwh	29 kwh	376 kwh	29%
8月	143 kwh	509 kwh	21 kwh	387 kwh	28%
9月	124 kwh	467 kwh	30 kwh	373 kwh	27%
10月	109 kwh	450 kwh	22 kwh	363 kwh	24%
11月	79 kwh	453 kwh	17 kwh	391 kwh	17%
12月	74 kwh	480 kwh	16 kwh	422 kwh	15%
1月	83 kwh	480 kwh	22 kwh	419 kwh	17%
2月	88 kwh	452 kwh	19 kwh	383 kwh	18%
3月	113 kwh	503 kwh	17 kwh	407 kwh	22%
計	1,440 kwh	5,784 kwh	282 kwh	4,626 kwh	25%

### ウ 収支決算の状況

収入の主なものは寄付金及びカンパ収入等で、その金額は106,066円（繰越金含む）に対し、支出は通信運搬費等の10,103円で収支差額95,963円でした。

昨年度決算において出資金返還額が189,887円不足していることを報告しましたが、今なお、114,037円が不足しています。出資金は返還を前提にして措置したものです。可能な限り新年度において不足分の収入を確保して全額返還の手続きを完了するよう努力しなければなりません。

エコ SUN 市民発電収支計算書（2009年4月1日～2010年3月31日）

（単位：円）

科目		決算額	備考
収入の部	事業収入	0	
	助成金収入	0	
	寄付金収入	77,000	市民からの寄付
	カンパ収入	8,910	行事等でのカンパ
	出資金	0	一時資金調達金（設置費用の寄付金調達で返金）
	雑収入	43	預金利子
当期収入合計（A）		85,953	
前期繰越金		20,113	
収入合計（B）		106,066	
支出の部	外注費	795	寄付プレート名前入れ
	印刷費	0	
	通信運搬費	5,760	寄付者への実績報告書送付
	事務消耗品費	388	封筒代
	旅費交通費	0	
	諸謝金	0	
	雑費	3,160	太陽光発電所ネットワーク年会費等
支出合計（C）		10,103	
収支差額（A）－（C）		75,850	
繰越金（B）－（C）		95,963	

**（7）服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会事業**

服部緑地から天竺川沿いにつながる緑や河川を一体として捉え、地域の中でそのあり方を考えていくプロジェクトです。

当法人は、この協議会の事務局を大阪府池田土木事務所、豊中市環境政策室と共同で担い、協議会の開催やイベントなどを実施しました。

協議会構成団体

履正社学園豊中中学校、緑地小学校、あけぼの幼稚園、服部みどり幼稚園、北条小学校、豊中十六中校区地域教育協議会、社団法人豊中青年会議所、千里川を考える会、中豊島福祉推進協議会、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、豊中市、大阪府

**（8）ESD**

2005年1月より国連「持続可能な開発のための教育（ESD）」の10年が始まり、地域でもこのESDを進めようと、豊中においてNPO、市の外郭組織、市、教育委員会などがゆるやかな連携で取り組みを始めています。当法人としては、広い意味での環境学習（あらゆる年齢層への働きかけ、人材育成、参加）に資する取り組みとして今後の活動の広がりにつながることを期待し、積極的に参画しています。

2009年度より、ESD とよなか事務局会議をESD とよなか連絡会議と再編し、代表・副代表を毎年持ち回ることとなりました。なお、2009年度の代表は当法人が担いました。

ESD とよなか連絡会議参加組織

（財）とよなか国際交流協会、（財）とよなか男女共同参画推進財団、（社）豊中市社会福祉協議会、NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、NPO 法人とよなか市民活動ネットきずな、

とよなか人権文化まちづくり協会、赤ちゃんからの ESD、  
豊中市（環境政策室・人権企画課・千里文化センター）、  
豊中市教育委員会（地域教育振興課・人権教育企画課）

### （９）ゴーヤネットワーク

緑のカーテンの取り組みとしてのゴーヤネットの活動は、大阪府並びに豊中市からのポット苗の提供を受けるとともに、「とよっぴー農園」で育苗した分を希望した方々に配布して取り組んでいただきました。本年度は団体（施設）への配布を行わず個人に絞って配布しました。ただし、取り組み結果の報告は今回求めませんでした。

ゴーヤネットワークの活動は、当初に比較して多様な団体がそれぞれの持ち場で取り組んでいます。領域が広がっていることから、ある意味では活動の終了も考慮すべき時期が訪れているとも言えます。

なお、今回はゴーヤ料理の講習会を開催して違う観点からの取り組みも行いました。

### （１０）広報活動

当法人の広報活動としては、ニューズレターの発行、ホームページ作成・更新、毎月の活動案内の送付、「広報とよなか」への掲載、市広報広聴課への情報提供、豊中・池田ケーブルテレビへの出演、講演依頼への対応などを行っています。

#### ア ニューズレター

「とよなか環境ニューズレター」を年４回発行しています。企画・編集は広報チームが行い、月に１回ずつ編集会議や校正会議などを行っています。印刷部数は毎号 1,500 部で、会員への配布、とよなか市民環境会議構成団体や関係団体への送付のほか、豊中市各施設で配布しています。なお、バックナンバーはホームページでも公開しています。

発行月	ナンバー	主な内容
2009 年夏号	No.27 (通巻 45 号)	エコポイント／機密書類リサイクル／とよっぴーアンケート／むし調べ／エコカレンダーまとめ／太陽光発電／環境政策室／今後のスケジュール
2009 年秋号	No.28 (通巻 46 号)	総会理事長あいさつ／自然部会観察会／堆肥化実験／生活部会／企画屋エコツアー／竹炭プロジェクト／とよなか市民環境会議／今後のスケジュール
2009 年冬号	No.29 (通巻 47 号)	環境展のお知らせ／とよっぴー祭り／生活部会／自然部会／企画屋ウォーク／温暖化対策プロジェクト／とよなか市民環境会議／今後のスケジュール
2010 年春号	No.30 (通巻 48 号)	環境展／冬鳥観察会／とよっぴー野菜市／エコアイデア見学会／省エネ学習会／とよなか市民環境会議／今後のスケジュール

#### イ ホームページ

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 のホームページを開設し、情報提供を行っています。  
ホームページアドレス：<http://www5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>

年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度
ホームページアクセス数	8,443	8,734	6,643	7,101	5,514
アクセス数累計	29,903	38,637	45,280	52,381	57,895

また、ホームページ内の各部会・プロジェクトの内容を充実させるため、ホームページ会議を行いました。

実施日	内容	場所
10月8日(木)	現在の内容確認と今後のあり方について検討	環境情報サロン
1月15日(金)	ホームページの作成講習会	環境情報サロン

### (11) 他の団体・自治体との連携・交流

#### ア ぐらしかん登録グループ

豊中市生活情報センターぐらしかんの登録グループに登録し、毎月グループ連絡会に参加しています。ぐらしかんのイベントに参画したり、ぐらしかんと共催事業なども行っています。

また、ぐらしかん1階の生活情報ひろばでパネル展なども行っています。

実施日	内容	場所
毎月第2水曜日	地産地消イベント	ぐらしかん
毎月第4金曜日	ぐらしかんグループ連絡会	ぐらしかん
5月13日(水)	悪徳商法追放キャンペーン準備	ぐらしかん
5月27日(水)	悪徳商法追放キャンペーン	千里中央
7月1日(水)～31日(金)	生活情報ひろばパネル展「豊中の自然」 (島熊山の雑木林を守る会と合同で実施)	ぐらしかん
8月20日(木)	夏休みこども工作自然教室「ゆらゆらモバイル」	ぐらしかん
10月24日(土)	ぐらしかん祭り	ぐらしかん
1月4日(月)～29日(金)	七草の展示「春の七草と各地のお雑煮」	ぐらしかん

#### イ きんき環境館パートナーシップ団体

2005年度より環境省近畿環境パートナーシップオフィス(きんき環境館)のパートナーシップ団体に登録しています。2009年度は登録団体として、きんき環境館での展示会や交流会に参加しました。

実施日	内容	場所
4月24日(金)	パートナーシップ団体説明会	きんき環境館
10月15日(木)、29日(木)	年末環境大感謝祭2009実行委員会	きんき環境館
12月15日(火)～19日(土)	年末環境大感謝祭2009 展示(期間中)、竹炭サンプル配布(17日)	きんき環境館
12月19日(土)	パートナーシップ団体の集い	きんき環境館
3月28日(日)	パートナーシップ団体の集い	きんき環境館

#### ウ その他の参画・構成団体

当法人として豊中市内外の関連する団体やネットワークへ参画・構成しています。

団体・ネットワーク名	地域	形態	備考
マイバッグ持参・レジ袋削減協定	豊中市内	協定締結	
島熊山緑地協議会	豊中市内	団体会員	
豊中市マイバッグ推進協議会	豊中市内	構成団体	
しょうないREK	豊中市内	参加団体	
温暖化防止 COP15 ネットワーク関西	関西	参加団体	
NPO 法人太陽光発電所ネットワーク	全国	団体会員	
MAKE the RULE キャンペーン	全国	賛同団体	

エ 視察・ヒアリング対応

各地から当法人の取り組みや「豊中アジェンダ 21」について視察・ヒアリングの要望があり、可能な範囲で対応しました。なお、花と緑のネットワークとよなかでは、緑と食品のリサイクルプラザの施設見学や生ごみ堆肥化事業などへの視察対応を別途行っています。

実施日	視察者
8月20日(木)	大阪大学法学研究科大学院生
2月10日(水)	アジェンダ 21 すいた

オ その他

実施日	内容	主催	場所
4月25日(土)	緑化リーダー養成講座開講式(講師)	豊中市	花と緑の相談所
4月29日(祝)	メーカーリサイクルバザー(出展)	連合豊中	豊島公園
4月29日(祝)	スプリングフェスタ(出展)	豊中市	花と緑の相談所
4月29日(祝)	れんげまつり(出展)	豊中市	走井3丁目
5月14日(木)	地球温暖化防止の取り組み勉強会(講師)	ひらかた環境ネットワーク会議	サプリ村野
5月29日(金)	自然エネルギーを求めて(講師)	茨木市市民活動センター	茨木市市民活動センター
6月6日(土)	通学路の安全を考えるシンポジウム(共催)	豊中市教職員組合 他	蛍池小学校
6月6日(土)	豊中・伊丹環境政策フォーラム学習会(共催)	NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラム	スワンホール
6月8日(月) ～12日(金)	パネルによる豊中の市民活動(出展)	NPO 法人とよなか市民活動ネットきずな	豊中市役所第2庁舎ロビー
6月13日(土)	島熊山緑地協議会定時総会(参加)	島熊山緑地協議会	西丘小学校
7月18日(土)	千里西町ふれあいフェア(共催)	新千里西町商店街	新千里西町商店街
7月26日(日)	上下流連携の森づくりの集い(参加)	甲賀愛林クラブ	甲賀市山林
8月1日(土) 2日(日)	豊中まつり「環境情報サロンパネル展」	豊中まつり実行委員会	環境情報サロン
9月12日(土)	環境フォーラム2009(共催)	豊中市	コラボ
9月16日(水)	市民活動情報サロンウィークリーサロン(講師)	豊中市市民活動情報サロン	市民活動情報サロン
10月18日(日)	コラボまつり(参加)	千里文化センター「コラボ」	コラボ
10月20日(火)	省エネルギー普及のための人材研修(講師)	省エネルギーセンター	大阪・中央電気倶楽部
10月25日(日)	クリーンランドフェスティバル(共催)	豊中市伊丹市クリーンランド	クリーンランド
10月31日(日)	みどりのフォーラム(出展)	豊中みどりの交流会2009実行委員会	大池小学校
10月31日(日)	環境落語とシンポジウム(パネラー)	豊中市・伊丹市クリーンランド労働組合	ホテルアイボリー
11月21日(土)	農業祭(出展)	農業委員会	市民会館

1月15日(金)	「ESD×生物多様性」プロジェクト 近畿地域ワークショップ(パネラー)	ESD-J	さいりん館
1月20日(水)	宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議研修会(講師)	宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議	宇治市生涯学習センター
1月23日(土)	堺市中区まちづくり考房 第3回エコ活動推進講座(講師)	堺市中区まちづくり考房	堺市中区役所
2月18日(木)	環境パートナーシップ会議設立に向けた検討会議における学習会(講師)	福井県若狭町	若狭町役場

## (12) 審議会・委員会等への参加

豊中市などの審議会や各種委員会に委員として参加しています。

名称	参加者名	主な内容	出席日(回数)
とよなか市民環境会議	新開悦子	豊中アジェンダ21の推進	5/27,11/17,3/29(3回)
環境審議会	廣田 学	とよなかの環境Ⅰ、Ⅱ 第2次環境基本計画	8/10,10/28,12/25,2/25 (4回)
廃棄物減量等推進審議会	茨木かづ子	第3次一般廃棄物処理基本 計画、第3次ごみ減量計画	1/7,2/24(2回)
豊中市伊丹市クリーンランド新 ごみ焼却施設整備基本計画検討 委員会	廣田 学	新ごみ焼却施設の整備基本 計画や省エネ、緑化	6/30,8/21,10/20,12/16 ,2/22(5回)
ESTモデル事業推進委員会	井上和彦	環境的に持続可能な交通 (EST)モデル事業の推進	10/27,2/26(2回)
とよなかサイエンスネット実行 委員会	井上和彦	科学教育の推進	5/15,2/26(2回)
食育推進協議会	高島邦子	食育推進計画の進行管理と 評価	7/10,2/16(2回)
豊中市チャレンジマイナス70推 進協議会	宮田 健	省エネ支援システムとエコ ポイント制度の推進	4/20,6/16,10/23(3回)
服部緑地・天竺川周辺「地域の魅 力・顔づくりプロジェクト」推進 連絡協議会	山口 壽	天竺川の親水性、アクセス性 や有効活用の推進	6/8,3/30(2回)
温暖化対策「一村一品・知恵の環 づくり」事業審査会(大阪府)	井上和彦	環境省の温暖化対策「一村一 品・知恵の輪づくり」事業の 大阪府代表を審査	5/18,9/10,11/7(3回)

### 3. 生活部会

#### (1) エコライフカレンダー（豊中市民版環境家計簿）活動

エコライフカレンダー（豊中市民版環境家計簿）による省エネ型ライフスタイルの普及啓発運動に今年も取り組みました。日本政府が二酸化炭素削減目標を25%に掲げたことで、省エネ住宅や省エネ機器など新しい需要も見込んだ動きが活発になってきました。私たちの周辺でも、エコライフカレンダーの重要性が増してきています。

2009年に登録されたエコライフカレンダーモニターは213人。12か月完全提出者は143人でした。前年のモニターは176人、完全提出者は128人でしたので、モニター登録者は37人の増加、完全提出者は15人の増加でした。豊中市が2008年度から実施している太陽光発電の設置補助金制度を利用し太陽光発電を設置したモニターが70人含まれていて、昨年の太陽光発電モニター34人に対し36人の増がモニター増の主な要因と考えられます。また、地球温暖化対策プロジェクトも立ちあがり、事業者と一緒に省エネ家電・省エネ住宅の運動が進められていて、生活部会でも今後はこのような新しい状況と課題についての認識を広げ、生活者としてできる二酸化炭素削減の機運が高まることに大いに期待をもって、活動を進めていきたいと考えています。

2009年度のエコライフカレンダー活動の詳細については2010年5月末に発行の「エコライフカレンダー活動を振り返る」で報告しています。また、2004年から発行していますモニター通信「モニター倶楽部」は今年も号外を含め5回（15号・16号・号外3回）発行しました。くらしの省エネに関する情報やモニターの声を掲載して、モニターとの紙上交流・意見交流を行いました。

2010年版エコライフカレンダー（豊中市民版環境家計簿）を、NEDOの補助金の交付を受け2,500部を2009年12月に発行し、とよなか市民環境会議会員・市内小中学校・幼稚園・市施設やとよなか市民環境展2009を通じて広く一般市民に配布、普及啓発を行いました。

実施日	内容	場所	スタッフ数
4月13日（月）	2008年エコライフカレンダー活動まとめ編集会議	環境情報サロン	4人
4月20日（月）	モニター倶楽部15号・号外発行	環境情報サロン	7人
4月28日（火）	2008年エコライフカレンダー活動まとめ編集会議	環境情報サロン	4人
5月14日（木）	2008年エコライフカレンダー活動まとめ編集会議	環境情報サロン	3人
5月20日（水）	2008年エコライフカレンダー活動まとめ編集会議	環境情報サロン	3人
5月26日（火）	2008年エコライフカレンダー活動まとめ発送	環境情報サロン	6人
7月10日（金）	モニター省エネ相談	環境情報サロン	2人
7月24日（金）	モニター倶楽部16号発行	環境情報サロン	8人
9月18日（金）	2010年エコライフカレンダー編集会議	環境情報サロン	6人
9月29日（火）	2010年エコライフカレンダー編集会議	環境情報サロン	5人
10月6日（火）	2010年エコライフカレンダー編集会議	環境情報サロン	5人
10月9日（金）	モニター倶楽部号外発行	環境情報サロン	2人
10月15日（木）	2010年エコライフカレンダー編集会議	環境情報サロン	5人
10月22日（木）	2010年エコライフカレンダー編集会議	環境情報サロン	5人
10月27日（火）	2010年エコライフカレンダー編集会議	環境情報サロン	4人
10月30日（木）	2010年エコライフカレンダー編集会議	環境情報サロン	5人
11月4日（水）	2010年エコライフカレンダー編集会議	環境情報サロン	3人
11月11日（水）	2010年エコライフカレンダー発注	環境情報サロン	2人
11月20日（金）	2010年エコライフカレンダー印刷校正	環境情報サロン	3人
11月26日（木）	2010年エコライフカレンダー印刷校正	環境情報サロン	3人
11月30日（月）	2010年エコライフカレンダー印刷最終校正	環境情報サロン	3人



12月7日(月)	2010年エコライフカレンダー納入(2,500部)、発送準備作業	環境情報サロン	4人
12月8日(火)	2010年エコライフカレンダー発送作業	環境情報サロン	7人
12月11日(金) 12日(土)	とよなか市民環境展 2009 でエコライフカレンダー配布・啓発	市民会館	11人
2月20日(土)	モニター倶楽部号外発行	環境情報サロン	7人
3月10日(水)	暮らしの省エネ生活・エコライフカレンダーの取り組みについて研究発表	くらしかん	4人
合計	26回		121人

## (2) 環境学習会・見学会・省資源循環の暮らし

2009年度は、無農薬茶摘み体験やトールペイント、おもちゃ作り、裂き織り手作り講習会等を実施しました。また、ゆたか幼稚園 PTA への出前学習会、専門家による環境学習会、エコライフミニチェック調査など、温暖化防止・省エネ・3R等についての講習会・学習会を実施しました。

### ア 手作り講習会

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
8月1日(土)	トールペインティング	環境情報サロン	5人	3人
3月12日(金)	さき織り講習会	環境情報サロン	5人	3人
合計	2回		10人	6人

### イ 学習会・見学会など

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
4月29日(水)	れんげまつり(参加)	走井	—	3人
5月30日(土)	無農薬茶摘み体験学習	東舞鶴崎山茶園	33人	5人
7月31日(金)	ブログ研修会	宝塚 NPO センター	—	4人
10月3日(土)	自分で作ったおもちゃで遊ぼう	環境情報サロン	7人	3人
12月11日(金) ～12日(土)	環境展でエコライフミニチェック	市民会館	50人	5人
1月15日(金)	豊中市立ゆたか幼稚園 PTA の母親を対象に出前環境学習会	ゆたか幼稚園	28人	5人
1月21日(火)	あなたも省エネの達人・省エネの裏技教えます(講師:ひのでやエコライフ研究所 鈴木靖文さん)	くらしかん	25人	6人
2月18日(木)	くらしかん情報ひろば講座「環境家計簿をつけてエコな暮らし」	くらしかん	6人	3人
合計	8回		149人	34人

### (3) 定例会

毎月1回、定例部会を開催して、事業活動の立案・実施について検討決定するほか、幅広い情報の受発信・意見交換を行っています。

実施日	主な内容	場所	参加者数	行政
4月18日(土)	2008年エコライフカレンダー活動のまとめ ／2009年活動計画	環境情報サロン	8人	3人
5月16日(土)	2008年エコライフカレンダー活動のまとめ ／2009年活動計画	環境情報サロン	5人	1人
6月20日(土)	エコポイント「とよか」とエコライフカレンダー ／茶摘み(無農薬)製茶場見学会報告	環境情報サロン	7人	4人
7月18日(土)	当面の活動計画(出前環境学習会・手作り講習会等) ／モニター倶楽部16号発行	環境情報サロン	9人	2人
8月15日(土)	2010年エコライフカレンダー作成／ブログ	環境情報サロン	8人	3人
9月19日(土)	2010年エコライフカレンダー作成／モニターのエコポイント ／手作り講習会	環境情報サロン	8人	1人
10月17日(土)	2010年エコライフカレンダーの制作・発行 ／生活部会のホームページ	環境情報サロン	6人	1人
11月21日(土)	環境展(生活部会のテーマ・展示内容等) ／2010年エコライフカレンダー発行	環境情報サロン	9人	2人
12月19日(土)	エコライフカレンダー環境学習会／ゆたか幼稚園 出前環境学習会	環境情報サロン	7人	1人
1月16日(土)	エコライフカレンダー環境学習会／ゆたか幼稚園 出前環境学習会／2010年エコライフカレンダーの 付け方学習会	環境情報サロン	8人	1人
2月20日(土)	くらしの省エネ研究発表／裂き織り手作り講習会 ／エコライフカレンダーのデータ集計とまとめ	環境情報サロン	8人	2人
3月20日(土)	2009年エコライフカレンダーのデータ集計とまとめ ／2010年の活動	環境情報サロン	7人	3人
合計	12回		94人	21人

#### 4. 自然部会

自然部会では発足当初から、豊中に残された貴重な自然を守ることを目標の最も重要な柱として活動してきました。そのために、多くの人に自然に親んでもらうことや、関心をもってもらう事業を展開してきました。全労済の助成を受けたことを基盤に、地域で同じ志をもち活動をしている他のグループと、繋がりを広げ活動してきました。活動は年ごとに多くなっています。また、市民との協働事業として、身近な生き物しらべ「写真による豊中の“むし”調べ・2009」を実施し多くのデータが集まり成果をあげることが出来ました。未来の森づくりも市との協働のもと、苗の植付けの計画も進んでいます。

##### (1) 自然観察会

###### ア 豊中市受託事業

実施日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
6月20日(土) 9:30~12:00	梅雨時の自然観察会「島熊山のキノコを見よう」	島熊山	27人	4人	2人
7月18日(土) 9:00~12:00	千里川魚類調べと生き物観察会	千里川	25人	38人	12人
9月18日(金) 18:00~20:00	秋の鳴く虫観察会	服部緑地	23人	11人	2人
2月6日(土) 9:30~12:15	冬鳥観察会	服部緑地	40人	16人	4人
合計	4回		115人	69人	20人

###### イ その他

実施日	内容	場所	参加者数
5月30日(土)	ヒメボタル観察会(豊中市主催)	春日町	10人
6月5日(土)	ビオトープ観察会	上野丘第4公園	16人
8月1日(土)	近畿ツバメのねぐら調査・観察会	赤坂下池	19人
合計	3回		45人

##### (2) 連続自然学習講座

テーマ「豊中の自然を見つめ、みんなで考えよう」

1999年から毎年3回シリーズで開催し33回となりました。

実施日	テーマ	講師	場所	参加者数	スタッフ数
10月3日(土) 14:00~16:00	都市の虫たちの生存戦略	初宿成彦さん(大阪市立自然史博物館学芸員)	蛍池公民館	18人	2人
2月13日(土) 14:00~16:00	淀川ワンド群の現況と課題	綾史郎さん(大阪工業大学教授)	中央公民館	22人	2人
3月13日(土) 14:00~16:00	地方版レッドリストづくりと生物保全	池内健さん(堺版レッドリスト作成検討委員)	中央公民館	14人	1人
合計	3回			54人	5人

### (3) 自然ふしぎ発見クラブ

次世代を担う子ども達とその保護者を対象に、身近な自然のふしぎを発見し、自然の見方、触れ合い方を知ってもらう行事です。

実施日	テーマ・内容	場所	参加者数		スタッフ数
			子ども	おとな	
4月25日(土) 10:00~12:00	竹の赤ちゃんに会いに行こう	千里中央公園	9人	7人	4人
6月28日(日) 10:00~12:00	服部緑地の池で水生生物を見つけよう	服部緑地	27人	17人	6人
9月26日(土) 10:00~12:00	むしの楽園で遊ぼう	服部緑地	13人	10人	6人
10月31日(土) 9:30~12:00	島熊山の小さな秋を探そう	千里緑地	6人	7人	2人
1月23日(土) 10:00~12:00	落ち葉でホカホカ焼きいも	千里中央公園	21人	25人	4人
2月28日(日) 10:00~12:00	春を食べよう	服部緑地	9人	12人	5人
合計	6回		85人	78人	27人

### (4) 調査活動

#### ア 希少植物調査

自然部会として調査に取り組んで6年間、それ以前の有志のものも含めると12年あまり経過し、「希少植物調査・とよなかーレッドデータブック豊中ー」(A4サイズ30ページ、カラー版豊中の植物付録付き、2008年3月発行)として完成させ、関係機関や団体へお知らせしました。2009年度は補充調査と、冊子をイベントなどで展示や広報する活動など豊中の自然保全に活用しました。

実施日	内容	場所	参加者数
5月13日(水)	補充調査	服部緑地	10人
6月25日(木)	補充調査(開発予定地)	東泉丘	15人
2月10日(水)	補充調査	大阪府立刀根山高校	3人
合計	3回		28人

#### イ 写真による豊中の“むし”調べ・2009

自然部会の長年の課題であった豊中の虫についての取り組みの一環として市民調査員のカメラを使用して撮影協力で実施しました。撮影データはL版にプリント又はCD・記録メディア・ファイル転送サービスを利用して提出してもらいました。また、“むし”写真展を市役所第二庁舎ロビー、環境展で開催し好評を得ました。

調査期間 2009年4月~10月 撮影対象 身近な“むし”(昆虫に限定しない)

調査協力者数 34人 まとめ冊子発行 A4版22ページ(うち、カラー2ページ)

実施日	内容	場所	参加者数
4月18日(土)	説明会と現地撮影会	中央公民館~豊島公園~ 環境情報サロン	22人
4月~6月(第1期)	身近な“むし”撮影	豊中市内全域	34人

6月12日(金)	むし写真撮影学習会 (講師：伊藤ふくおさん)	島熊山緑地	24人
7月～8月(第2期)	身近な“むし”撮影	豊中市内全域	34人
9月～10月(第3期)	身近な“むし”撮影	豊中市内全域	34人
10月19日(月)～23日(金)	第1期分写真展	市役所第二庁舎1階ロビー	544人
	同定・集計作業、展示、資料作成等会議(28回)	環境情報サロン くらしかん	101人
3月20日(土)	報告会と交流会	くらしかん	20人
合計			813人

### (5) 自然を守る活動

自然部会の最終の目標は、豊中の自然を守ることにあり、この分野の活動が年々増加しています。

実施日	内容	場所	参加者数
4月11日(土)	島熊山竹林整備	島熊山	9人
5月8日(金)	島熊山竹林整備	島熊山	6人
5月28日(木)	羽鷹池クズ刈りとビオトープ観察会	羽鷹下池・上野丘第4公園	15人
6月18日(木)	天竺川清掃	西願寺橋付近	5人
6月19日(金)	旧猪名川自然林整備	利倉西	15人
7月10日(金)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	7人
8月8日(土)	島熊山・古池周辺手入れ	島熊山緑地	6人
9月10日(木)	天竺川清掃	西願寺橋付近	5人
9月11日(金)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	8人
10月10日(金)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	7人
10月23日(金)	ヒメボタル育成地整備	春日町	5人
10月29日(木)	島熊山森林調査	島熊山緑地	3人
11月14日(土)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	6人
11月26日(金)	ヒメボタル育成地整備	春日町	6人
12月12日(土)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	3人
12月18日(金)	羽鷹池クズ刈り	羽鷹下池	10人
12月21日(月)	ヒメボタル育成地整備	春日町	6人
1月8日(金)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	11人
1月21日(火)	ヒメボタル育成地整備	春日町	7人
2月13日(土)	島熊山竹林整備	島熊山	7人
2月25日(木)	ヒメボタル育成地整備	春日町	7人
3月12日(金)	島熊山竹林整備	島熊山緑地	8人
合計		22回	162人

### (6) 豊中の自然を保全・復元する活動団体ネットワーク(2007年全労済地域貢献助成事業の継続)

ネットワーク参加団体

NPO法人豊島北ビオトープクラブ、どんぐり山を守り育てる会、上野丘自治会、グリーンリーフクラブ、ヒメボタル保護者会、羽鷹池を守る会、島熊山緑地協議会、服部緑地の自然を育てる会、中山池整備検討委員会、猪名川の自然と文化を守る会、島熊山の雑木林を守る会、服部緑地竹レンジャー、大阪府立刀根山高等学校、

NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 (自然部会・竹炭プロジェクト)

実施日	内容	場所	主催団体	参加者数
4月23日(土)	わがまちの品格 保護樹木・大木・古木を訪ねて「曽根から利倉春日神社」	新豊島川緑道、ホテルドーム、豊島北ビオトープ、利倉春日神社	自然部会	30人
5月14日(土)	わがまちの品格保護樹木・大木・古木を訪ねて「天神社から徳林院」	上新田天神社保護樹林、徳林院保護樹林	自然部会	25人
5月24日(日)	トンボのヤゴ救出作戦・2009	服部緑地ウォーターランド	服部緑地の自然を育てる会	新型インフルエンザの影響で中止
6月5日(木)	ビオトープ整備と生き物調査	上野丘第4公園	自然部会・上野丘自治会まちづくり委員会	16人
6月6日(土)	大阪大学東通路開通式	大阪大学柴原町隣接地	大阪大学施設委員会	3人
11月28日(土)	中山池の生き物調査と観察	大阪大学中山池	中山池整備検討委員会	2人
12月11日(金)	豊中の自然を保全復元する活動団体交流会(環境展)	市民会館和室	自然部会	9団体 14人
2月27日(日)	大阪大学中山池委員会	大阪大学学舎	中山池整備検討委員会	2人
2月3日(水)	刀根山高校里山林と周辺の自然を見学	刀根山高校、市立豊中病院北側の自然林	自然部会	14人
2月16日(水)	刀根山高校里山林手入れ作業支援	刀根山高校	刀根山高校環境委員会	2人
2月19日(金)	刀根山高校里山林手入れ作業支援	刀根山高校	刀根山高校環境委員会	2人
適時	自然関係の情報や相互の活動状況の提供(ニュースレターの送付など)		自然部会	
合計	11回			110人

大阪府立刀根山高等学校が、環境緑化委員会を主にクラブ(生物エコ部)活動として、校舎敷地内に残されている里山林の保全活動をされている。この自然を守る活動を生徒達と継続して行うため2009年度からネットワークに加入されました。

### (7) 未来の森づくり

2008年度から実施している、豊中産の樹木でみどりを創出する事業です。2009年度は島熊山で開催した自然ふしぎ発見クラブ「島熊山の小さな秋を探そう」の参加者に目的を理解してもらい、参加者が拾ったどんぐりを使用しました。どんぐりは環境展で竹ポットへ植付けを呼びかけ、自宅で苗を育て、1年後に持ち寄ってもらいます。一番最初に植えつけた苗は、2010年度に植付けを実施する計画で、2009年度は苗を育てている参加者への連絡対応などを行いました。

なお、生物多様性の豊かな森づくりは自然部会にとって重点事業であり、豊中市とも協力しながら、継続、拡大していきたいと思っております。

	2008年度	2009年度
協力参加者（環境展での植付け参加者）	60人	58人

### (8) その他

実施日	内容	場所	スタッフ数
4月29日（祝）	スプリングフェスタ工作	花とみどりの相談所	3人
6月13日（土）	島熊山緑地協議会総会	西丘小学校	5人
6月15日（月）	箕輪小学校 環境学習支援	千里川	2人
7月10日（金）	小曾根小学校 環境学習支援	天竺川	1人
7月23日（木）	夏休み工作教室	庄内公民館	5人
7月1日（水）～ 30日（木）	パネル展「豊中の自然」	くらしかん	4人
8月6日（木）	緑地小学校 地域子ども教室	緑地小学校	2人
8月20日（木）	夏休み自然工作	くらしかん	10人
9月4日（金）	小曾根小学校 環境学習支援	天竺川	1人
9月27日（日）	天竺川たんけん発表会 支援	天竺川	2人
10月23日（土）	くらしかん祭り（自然工作）	くらしかん	6人
10月23日（土）	箕輪小学校 環境学習支援	箕輪小学校	1人
11月2日（月）	第四中学校 総合学習支援	第四中学校	2人
11月14日（土）～ 15日（日）	大阪自然史フェスティバル 2009（パネル 展示）	大阪市立自然史博物館	6人
11月16日（月）	第四中学校 総合学習支援	天竺川	2人
12月4日（金）	南丘小学校 ビオトープ相談	南丘小学校	1人
1月4日（月）～ 29日（金）	春の七草展（実物とパネル展示）	くらしかん	6人
合計	17回		59人

### (9) 定例会・研修会

#### ア 定例会

毎月1回定例会部会を開催、年間事業活動に合わせ、企画担当者が提出した事業計画案を元に検討・決定・実行しています。活動情報を部会員で共有し活動をより活発化するため、担当者報告・参加者の感想なども欠かさず報告しています。世界、日本、地域の自然に関する幅広い情報の提供や意見交換がされています。2009年度は、「第2次豊中市環境基本計画」と自然部会の具体的な活動についての議論を活発に交わしました。

実施日、時間	場所	参加者数
毎月第2月曜日 18:00～20:50（4月～3月） 祝日と重なる日は翌日	くらしかん	194人

#### イ 研修会・見学会

実施日	内容	場所	参加者数
11月23日（祝）	淀川ワンド見学会	大阪市旭区	9人

## 5. 事業部会

### (1) 機密書類リサイクル

2006年から検討と実験を開始した機密書類リサイクルですが、2009年度からはいよいよ本格的に実施、年2回定期的に開催することとなりました。参加事業所も少しずつ増え、豊中市私立幼稚園連合会にもご協力いただくなど、事業所や市民が連携して環境問題に取り組む社会システムづくりの輪を一步步進めていくことができました。今後は更なる拡大に向けて努力していきます。

実施日	内容・場所	参加者	スタッフ数
4月28日(火) 10:30~18:00	収集場所 豊中市伊丹市クリーンランド 処理業者 大和紙料(株)(高槻市) 搬入量 3,480 kg 証明書発行 計量証明書・溶解証明書 協力 減量推進課、クリーンランド	13件 事業者8社 個人2人 幼稚園3園	3人
10月27日(火) 12:00~17:00	収集場所 豊中市伊丹市クリーンランド 処理業者 西日本衛材(株)(兵庫県たつの市) 搬入量 3,640 kg 証明書発行 計量証明書・溶解証明書 協力 減量推進課、クリーンランド	12件 事業者9社 個人1人 幼稚園2園	3人
2月23日(火)	商工会議所と打合せ (今後一緒に取り組む方向で話し合うことを確認)		1人
合計		15件	7人

### (2) 見学会

実施日	内容・場所	参加者数	スタッフ数
1月27日(水) 13:00~17:00	「パナソニックエコアイデア工場見学会」 見学先：パナソニック(株)ホームアプライアンス社 (滋賀県草津市) 環境宣言「エコアイデア工場 びわ湖」のもとに、先進的な環境の取り組みをされている工場を見学しました。	33人	2人

### (3) 学習会

実施日	内容・場所	場所	参加者数	スタッフ数
2月24日(水) 14:00~16:00	「最新の化学物質規制に関する学習会」 ①講演 有害化学物質に対する世界と日本の取り組み 有害化学物質削減ネットワーク 中地重晴さん ②取り組み事例紹介 パナソニック溶接システム(株)大森康以知さん	中央公民館3階視聴覚室	13人	2人



#### (4) 共催事業

実施日	内容	場所	参加事業者数	スタッフ数
7月16日(木) 14:00~16:00	「エコアクション21(EA21)説明会」 主催：エコアクション21地域事務局大阪 ①EA21認証登録制度について EA21審査人・環境カウンセラー 五十田義晴さん ②EA21自治体イニシアティブについて 大阪環境カウンセラー協会 塚本勝さん ③取得事例発表 柏木商会(株)代表取締役社長 柏本聡之さん ④不況を乗り越えるための省エネ対策 コンサルタントオフィス WATT 代表、省エネセンター専門員 野綱正幸さん	中央公民館3階視聴覚室	6社	アジェンダ1人 その他14人
10月1日(木) 11月5日(木) 12月3日(木) 2月4日(木) いずれも 13:00~17:00	「エコアクション21スクール」 主催：エコアクション21地域事務局大阪 エコアクション21の認証取得に向けての4回連続スクール	環境情報サロン	3社	その他3人

#### (5) 第2次豊中アジェンダ21の策定協力

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
8月5日(水)	市民ワークショップへの参加	リサイクル交流センター	7人	1人

\*参加者数は事業部会からの参加人数

#### (6) 定例会

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
6月4日(木)	2009年度の事業計画について	環境情報サロン	11人	2人

## 6. 交通部会

2009年度の交通部会は、大阪府の「OSAKA バスエコキャンペーン 2009」へ参加したほか、豊中市EST（環境的に持続可能な交通）モデル事業推進委員会に参加しました。

### (1) OSAKA バスエコキャンペーン 2009 への参加

公共交通であるバスの利用促進を目的とした、エコファミリーキャンペーン連絡協議会（事務局：大阪府都市交通課、NPO 法人大阪府民環境会議）主催の「OSAKA バスエコキャンペーン 2009」に参加しました。バスに乗車した方が車内に置かれたクーポンチラシを持って、指定の施設を利用すると施設ごとの特典がもらえるというものです。環境情報サロンでは、バスに乗ってクーポンチラシを持参し来場した方にエコポイントチケット「とよか」1枚（100ポイント＝100円分）を差し上げることとし、11月1日～30日のキャンペーン期間中に35件の利用がありました。

また、関連して「とよなか市民環境展 2009」において、2008年度に実施したバス停調査で撮影した市内の様々なバス停の写真を集めたパネルの展示や、バス・電車等の公共交通を利用して来場した方や省エネ相談会参加者などに「とよか」を配布する際や、小学校からの団体来場者に、豊中市内の小学校と環境展会場の市民会館の位置がわかるようにしたバス路線地図の配布などを行いました。

実施日	内容	場所	参加者数
7月31日（金）	大阪府民環境会議と打ち合わせ	環境情報サロン	3人
10月5日（月）	阪急バス・大阪府・大阪府民環境会議と打ち合わせ	阪急バス本社	6人
11月1日（日）～30日（月）	バスエコキャンペーン実施	環境情報サロン	のべ35人
12月11日（金）、12日（土）	とよなか市民環境展 2009	豊中市立市民会館	—

### (2) 豊中市 EST モデル事業推進委員会

回	実施日	内容	場所
1	10月27日（火）	1. 運営事項 1) 委員会設置要綱の改正について 2) 平成20年度決算報告 3) 会議の進め方について 2. 検討事項 1) 地域公共交通総合連携計画（案）について 2) コミュニティバス導入について	岡町図書館 3階会議室
2	2月26日（金）	1. 運営事項 1) 会議の進め方について（変更） 2. 検討事項 1) パブリックコメント結果と連携計画への反映について 3. 報告事項 1) カーシェアリング事業の試行について 2) 計画期間内（H22～H24）の委員会の予定について	福祉会館 3階会議室

## 7. 竹炭プロジェクト

自然環境保全を目的に公有地の竹林間伐を行っています。

2009年度の竹林間伐は、新千里北町2丁目（千里緑地）で行いましたが、この3月で一応終了しました。2008年9月から1年半かかりました。今後は竹林の様子を見ながら管理していきます。2010年4月からは少し離れた北町1丁目（千里緑地）で実施します。

千里中央公園では竹林整備として、安場池上方で側溝の土砂掘出しと土留めの板張りを行っております。メンバーを振り分けて、常時竹の間伐も行っており、必要に応じて葛刈りや倒木の整理、清掃も行っております。

一方、竹の間伐材を活用した竹炭焼きは9回実施しました。これらの竹炭製品は消臭用として、あるいは粉碎して園芸用などとして市内のイベントで頒布しています。

2009年度の活動詳細は下記の通りです。

### (1) 竹の間伐作業（新千里北町2丁目と千里中央公園）

切っても毎年生えてくる竹林の間伐、枯れ竹、倒竹、倒木などの整理を行いました。

実施日	内容	メンバー 参加者数	体験 者数	切った竹 概数	若竹切り 概数	摘要
4月2日	竹の間伐（北町）	15人		125本		
4月28日	竹の間伐（千中）	9人	1人		250本	西側道路の法面
5月12日	竹の間伐（北町）	12人	1人	105本		
5月27日	竹の間伐（千中）	13人			250本	西側道路の法面
6月4日	竹の間伐（北町）	10人	1人	105本		
6月24日	竹の間伐（千中）	12人	1人		280本	竹林内
7月7日	竹の間伐（千中）	10人	2人		130本	竹炭焼き窯出し後
7月15日	竹の間伐（北町）	14人	1人	130本		
8月7日	竹の間伐（北町）	11人		90本		
8月19日	竹の間伐（千中）	14人	1人	95本		西側道路の法面
9月7日	竹の間伐（北町）	13人	3人	140本		
9月17日	竹割り、節取り （千中）	8人	3人			窯出し後、次回炭焼き用
9月28日	竹の間伐（千中）	9人		100本		
11月4日	竹の間伐（北町）	12人	1人	115本		
12月8日	竹の間伐（北町）	10人	1人	110本		
1月6日	竹の間伐（北町）	13人	3人	130本		西端で残っている部分
1月26日	竹の間伐（千中）	6人	2人	90本		竹切と整備に分かれる
2月4日	竹の間伐（北町）	13人	4人	105本		全体見直し間伐
2月24日	竹の間伐（千中）	9人		70本		
3月4日	竹の間伐（北町）	11人	1人	120本		北町定例最終回
合計	20回	224人	26人	1,630本	910本	

※2009年3月31日（2008年度末）までの通算 9,345本

2010年3月31日（2009年度末）までの通算 10,975本（若竹除く）

## (2) 竹炭焼き (千里中央公園 野外炊さん場)

間伐した竹の中から竹炭焼きに使用できるものを選んで、年間9回の竹炭焼きを行いました。

実施日	内容	メンバー 参加者数	体験者数	備考
4月15日	竹炭焼き	15人		2窯
4月16日	窯出し	14人		
5月20日				新型インフルエンザの影響で中止
6月15日	竹炭焼き	13人	2人	2窯
6月16日	窯出し	12人	2人	
7月6日	竹炭焼き	14人	3人	2窯
7月7日	窯出し	10人	2人	
9月16日	竹炭焼き	14人	3人	2窯
9月17日	窯出し	8人	3人	
10月19日	竹炭焼き	11人		2窯
10月20日	窯出し	11人		
11月16日	竹炭焼き	8人	1人	2窯
11月18日	窯出し	9人	1人	
12月1日	竹炭焼き	11人		2窯
12月2日	窯出し	13人		
1月13日	竹炭焼き	15人	3人	2窯
1月14日	窯出し	14人	3人	
3月15日	竹炭焼き	15人	4人	2窯
3月16日	窯出し	11人	4人	
合計	9回	218人	31人	

## (3) 竹林整備 (千里中央公園)

公園の約3割を占める竹林大小3ヵ所(炊さん場裏、安場池とその上方、体育館裏)の整備。

実施日	内容	参加者数	体験者数	備考
4月15日	側溝の土砂掘出しと土留めの板張り	6人		安場池の上方
4月28日	側溝の土砂掘出しと土留めの板張り	7人		安場池の上方
8月26日	側溝の土砂掘出しと土留めの板張り	12人	1人	安場池の上方
10月19日	側溝の土砂掘出しと土留めの板張り	6人		安場池の上方
10月28日	側溝の土砂掘出しと土留めの板張り 及び台風落下枝の整理	8人		安場池の上方及び林内
11月25日	側溝の土砂掘出しと土留めの板張り 及び葛刈り	7人		安場池の上方 管理事務所 葛刈り
12月16日	側溝の土砂掘出しと土留めの板張り 及び竹林内整理	14人		安場池の上方及び台風 による倒木、落下枝整理
1月26日	側溝の土砂掘出しと土留めの板張り	6人		安場池の上方
2月24日	側溝の土砂掘出しと土留めの板張り	5人		安場池の上方すべり台 の近く
合計	9回	71人	1人	

(4) 製品作り (千里中央公園)

間伐材で作った竹炭はブラシをかけて、すすを払い、カットして袋詰めします。

実施日	内容	メンバー 参加者数	備考
6月30日	竹炭カット、ブラシがけ、粉碎炭づくり	8人	
7月27日	竹炭カット、ブラシがけ、粉碎炭づくり	10人	
10月7日	竹炭カット、ブラシがけ、粉碎炭づくり	12人	竹きり予定が雨で製品作り
2月15日	竹炭カット、ブラシがけ	13人	
3月23日	竹炭カット、ブラシがけ、粉碎炭づくり	12人	竹きり予定が雨で製品作り
合計	5回	55人	

(5) イベント参加

豊中市主催のイベント等に参加して、竹炭製品の頒布と自然工作を行いました。

実施日	イベント名	場所	メンバー 参加者数	竹炭 頒布	自然 工作	参加者 数	備考
4月8日	地産地消イベント	くらしかん	2人	○			
4月29日	スプリングフェスタ	豊島公園	8人	○	○	25人	飾りトンボ他
5月13日	地産地消イベント	くらしかん	3人	○			
6月10日	地産地消イベント	くらしかん	3人	○			
7月8日	地産地消イベント	くらしかん	3人	○			
7月12日	七夕祭り	豊中駅前	1人	○			
7月18日	ふれあいフェア	新千里西町	6人	○	○	40人	セミ太郎
7月23日	工作出前教室	庄内公民館	6人		○	60人	クワガタ他
8月1日	豊中まつり	環境情報サ ロン	7人	○	○	18人	フクロウ笛
8月2日			5人	○	○	25人	ブンブン他
8月12日	地産地消イベント	くらしかん	2人	○			
8月20日	夏休み自然工作	くらしかん	6人		○	20人	フクロウの 筆立て
9月9日	地産地消イベント	くらしかん	2人	○			
10月14日	地産地消イベント	くらしかん	3人	○			
10月17日	とよっぴー祭り	原田苗圃	6人	○	○	45人	ケン玉他
10月24日	くらしかん祭り	くらしかん	6人	○	○	27人	バッタ
10月25日	クリーンランドフ ェスティバル	クリーンラ ンド	3人	○	○	25人	ケン玉他
11月11日	地産地消イベント	くらしかん	3人	○			
11月21日	農業祭	市民会館	4人	○			
12月9日	地産地消イベント	くらしかん	3人	○			
12月11日	環境展	市民会館	8人	○	○	—	落ち葉の中 の生き物釣
12月12日			6人	○	○	21人	モックン他
1月13日	地産地消イベント	くらしかん	2人	○			

2月10日	地産地消イベント	くらしかん	2人	○			
3月10日	地産地消イベント	くらしかん	2人	○			
合計			102人	23回	11回	306人	

工作は自然部会と合同で行っています。メンバーは竹炭プロジェクトのみの数

#### (6) 会議

実施日	内容	場所	参加者数	摘要
4月16日	2008年度活動報告と 2009年度活動予定	千里中央公園管理 事務所	13人	竹炭プロジェクト総会
3月4日	新規活動場所について (新千里北町1丁目)	新千里北町2丁目	11人	打ち合わせと場所の確認

#### (7) その他

\*毎月2回、千里中央公園の竹林清掃を実施

\*竹材提供3件、竹酢液提供1件、竹材提供4件

\*千里中央公園で自然部会主催の「自然ふしぎ発見クラブ」に協力参加3回(4/26,12/20,1/23)

\*7/27セミの羽化観察

## 8. 企画屋本舗

企画屋本舗では、①“豊中の街”を環境・文化・歴史等いろいろの角度から見直し、わが街を再発見する取り組みを続けています。まず街を知る、そして、その中で街の魅力を再認識し、保全、保存のあり方も考えようとする企画です。環境問題をだれもが自分達の問題と捉えるために、企画内容を参加しやすい、ハードルの低いものにしていきます。また、②幼少時からの環境教育が重要と考え、子どもたちに「手のひら温度計」や南極の氷が融けるワークショップなど、体感や体験を通じて環境問題を考える企画を行っています。

今年度もメンバーの8割が現役の社会人で構成されていました。したがって、活動は参加しやすい土曜日と平日の夜に設定しています。それぞれ立場の違うメンバーだからこそその発想や情報を活用した企画が可能になっています。

今後も、環境にこだわらず他分野で活動している方や、地元の方、専門家とも連携して幅広い内容を検討する予定です。そこにはメンバーが持ち得ない豊富な知識、知恵、技術等があり参加者の満足度につながるのは当然のこと、メンバー自身も楽しんで活動ができています。

### (1) わがまちとよなか再発見 ちょっといい豊中見つけに行こかウォークの実施

今回は従来のスタイルをやめ、「豊中市地球温暖化防止地域計画 チャレンジマイナス70プラン」にのっとり、活動をした人がもらえるエコマネー「とよか」を使ってエコな買い物をするウォークでした。体験した岡町・桜塚商店街は「とよか」が使える商店街のひとつです。環境活動にご協力いただいているちょっといいお店をポスターを頼りに見つけ出し、「とよか」を扱う商店ではどんな課題があるのか、また、使用者にとって「とよか」が使いやすい状態になっているか等、いろいろな角度から検証するウォーキングになりました。

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
10月3日(土) 10:00~12:00	コース下見	—	6人
11月14日(土) 13:00~16:00	～第9回「とよか」を使ってエコショッピング～ 岡町・桜塚商店街 コース リサイクル交流センター：省エネ相談会と住宅相談会の実施 ⇒ 岡町七曲がり：古くから使われている道とそこにある家のたたずまいを知る ⇒ 岡町・桜塚商店街：商店街でエコな買い物体験 ⇒ 福社会館：省エネ・住宅相談の結果と買い物の感想や意見交換。	4人 (大人4人)	6人

### (2) 環境びっくり箱 親子で楽しくエコツアー

昨年取り組めなかった「大阪大学船舶海洋試験水槽公開」のイベントに参加し、大型コンテナ船が波の中で大きく揺れる実験を見学しました。100mもある大型水槽で波を起し、波長と船の揺れる関係をクイズを交えての説明に子どもたちの目は輝き、難しい理論を考えていました。実験後は翌々に皆既日食が見えるタイミングに合わせ、メンバーによる「日食観察の話と太陽エネルギー」のワークショップを実施。緑あふれる木立の中での海の話や宇宙の話は子どもたちの興味を引き出していました。

実施日	内容	参加者数	スタッフ数
6月13日(土) 10:00~15:00	コース下見	—	6人
7月20日(祝) 11:30~16:30	「海の日限定・大阪大学吹田キャンパスで体験学習」 コース 千里文化センター「コラボ」集合 ⇒ 大阪大学吹田 キャンパス：阪大クイズ・海の日クイズ ⇒ 実験の 説明・実験体験 ⇒ 工学部福利厚生棟：日食と太陽 についてのワークショップ ⇒ 現地解散 協力者 長谷川和彦さん（大阪大学大学院工学研究科） および、長谷川研究室のみなさん	14人 (大人7人 子ども7人)	6人

(3) 定例会の開催 場所：環境情報サロン

実施日	出席者数
第1回 4月25日(土) 10:00~12:00	5人
第2回 5月13日(水) 18:30~20:30	5人
第3回 7月11日(土) 13:00~15:30	6人
第4回 8月19日(水) 18:00~20:00	8人
第5回 9月9日(水) 18:00~20:00	6人
第6回 3月17日(水) 18:00~20:00	6人



## 9. 花と緑のネットワークとよなか

本年度は「パナソニック NPO サポートファンド」の採択を踏まえ、組織の基盤強化に重点化して取り組んできました。

特徴的事項として、従来採択を受けてきた民間活動助成は、活動支援が前提の制度が中心でした。今回の助成は、組織が持続的に維持されるための基盤整備（事務局体制の強化と事業と収益の関係性の整理）を図ることが目的であることから、その観点を常に意識化して活動を展開してきました。その結果、一定の成果をあげることができました。中でも事務局の配置並びに地産地消活動の拡大等で実績を確かなものにすることができました。

### (1) 定例会

メンバーによる定例会は毎月実施することができました。出席数は月ごとに変動がありますが、大体20人前後で推移しています。活動が多岐にわたるため会議も相当の時間を要しています。しかし、前月の活動実績をお互いが共有し、次の活動内容や諸日程を確認する場として定着しているものと評価できます。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出席者	19人	19人	23人	18人	19人	20人	21人	17人	19人	18人	19人	20人

定例会は、毎月第2火曜日に開催しています。

### (2) 「とよっぴー」の製造量と利活用の実績

緑と食品のリサイクルプラザで製造された土壌改良材を多様に利活用することで活動領域を広げました。製造された「とよっぴー」は前年度を13トン程度上回る量となりました。利活用の内訳は、有償頒布が約75.6%（前年度68.4%）を占め、無料配布では協力農家、市事業所がウェイトを占めています。

活用用途	無料配布					有償頒布	製造量
	市事業所	協力農家	花いっぱい運動	イベント配布	堆肥化講習会		
配布・頒布量	10,900kg	10,620kg	3,330 kg	5,265 kg	432 kg	93,078 kg	123,115 kg
割合	8.9%	8.6%	2.7%	4.3%	0.4%	75.6%	—

有償頒布は、基本的に月2回（8月は1回、12・1月は除く第2土曜日・第4水曜日）実施しています。購入者は過去最高の1,805人でした。頒布回数は「とよっぴー倶楽部」会員向けも含め20回（256人が参加）で、袋詰めを16回（179人が参加）行いました。無料配布の協力農家とは会員農家2軒及び豊中農業者経営協議会研究部会が対象です。同部会は給食食材として玉葱を一斉納入する活動を進めています。イベントでは「農業祭」が有償頒布で「スプリングフェスタ」「レンゲ祭り」が無料配布です。「とよっぴー祭り」は有償頒布と無料配布（サンプル）の両方を行いました。また、有償頒布の中には、学校菜園支援による「とよっぴー」の運搬頒布が特に増加しました。

なお、「市民農園」の契約更新にあわせて宣伝用の無料配布券を発行しました。これは、有償頒布の購入者を拡大するキャンペーンとして行ったもので、その結果が購入者の増加に繋がりました。

### (3) 生ごみリサイクルに関する講習会の開催及び堆肥化活動支援

家庭における生ごみの堆肥化の促進を図るため、堆肥化容器（電動装置等含む）の助成受付と同時に実施している講習会の開催実績は22回で参加者数は193人（スタッフ51人）でした。推移的には若干減少の傾向にあります。そのため、「野菜づくりの講習会」をセットするなど工夫・改善を図っています。電動等装置を制度化しましたが、申請数はわずかです。堆肥化講習会並びに助成制度の趣旨は、家

庭の生ごみを焼却しないで堆肥化することを通じて資源の大切さを実感していただくための啓発と取り組む市民を広げていくためです。今後もその視点で活動を継続することが重要です。

特徴としては、市立保育所での関係者を集めた講習会や ESD 活動に連携した開催がありました。なお、「とよっぴー」の頒布日（第4週水曜日）に行っている相談会はごくわずかな相談件数にとどまっています。

月日	時間	場所	主な内容	参加者数	スタッフ数
4月11日(土)	13:30~15:00	くらしかん	堆肥化講習会、野菜づくり講演会	23人	5人
4月22日(水)	10:00~11:00	緑と食品のリサイクルプラザ	堆肥化相談	0人	1人
5月9日(土)	10:00~11:00	くらしかん	堆肥化講習会	9人	4人
5月27日(水)	10:00~11:00	緑と食品のリサイクルプラザ	堆肥化相談	2人	1人
6月13日(土)	10:00~11:30	くらしかん	堆肥化講習会	12人	4人
6月22日(月)	15:00~17:00	小曾根保育所	保育士等への堆肥化指導(実演)	15人	2人
6月24日(水)	10:00~11:00	緑と食品のリサイクルプラザ	堆肥化相談	0人	1人
7月11日(土)	10:00~11:30	くらしかん	堆肥化講習会	6人	3人
9月5日(土)	13:30~15:00	くらしかん	堆肥化講習会、野菜づくり講演会	20人	3人
9月23日(水)	10:00~11:00	緑と食品のリサイクルプラザ	堆肥化相談	0人	1人
10月7日(水)	10:00~11:30	千里公民館	ESD 講演会(ダンボールたい肥作り)	21人	2人
10月10日(土)	10:00~11:30	くらしかん	堆肥化講習会	6人	3人
10月28日(水)	10:00~11:00	緑と食品のリサイクルプラザ	堆肥化相談	1人	1人
11月14日(土)	10:00~11:30	くらしかん	堆肥化講習会	7人	3人
11月25日(水)	10:00~11:00	緑と食品のリサイクルプラザ	堆肥化相談	1人	1人
1月9日(土)	10:00~11:30	くらしかん	堆肥化講習会	4人	3人
1月16日(土)	14:00~16:00	花とみどりの相談所	「とよっぴー」と堆肥化	23人	1人
1月22日(金)	14:30~16:30	本町保育所	保育士等への堆肥化指導(実演)	13人	2人
2月13日(土)	10:00~11:30	くらしかん	堆肥化講習会、野菜づくり講演会	23人	4人
2月24日(水)	10:00~11:00	緑と食品のリサイクルプラザ	堆肥化相談	1人	1人
3月13日(土)	10:00~11:30	くらしかん	堆肥化講習会	5人	4人
3月24日(水)	10:00~11:00	緑と食品のリサイクルプラザ	堆肥化相談	1人	1人
合計		22回		193人	51人

#### (4) 生ごみ堆肥化活動・活用助成制度の実績

堆肥化講習会の際には、家庭で生ごみ堆肥化に取り組む市民を応援するため、堆肥化活動(コンポスト・バケツ・ダンボール)の助成を行い、また堆肥装置活用(電動及び装置)にも助成を実施しています。助成金額はわずかですが、生ごみを焼却しないで有機性資源を循環活用させる活動として今後も継続することとします。

助成対象	生ごみ堆肥化活動助成制度			堆肥化活用助成制度
	コンポスト	密封バケツ	ダンボール堆肥資材	電動・手動式堆肥化装置
件数	7件	0件	20件	2件

### (5) 緑と食品のリサイクルプラザの見学対応

施設見学の対応は計 31 回、908 人（大人 354 人、子ども 554 人）、スタッフ 55 人でした。近年の見学傾向は、一般見学より「とよっぴー農園」等における農体験と連動して堆肥化施設を理解していただく場としての見学が増加しています。

それ以外の特徴的な見学では、インターンシップの際における行政施設見学の一環として訪れる場合が 4 件ありました。また、大学のゼミナールで豊中の堆肥化事業を知り、大学生協から排出される生ごみの堆肥化のための資料収集に来られたケースがありました。来られた学生に対し、レポートがまとめられた時点で、提供を要請したところです。

以前は、先進施設見学の位置づけで訪れるケースが散見されましたが、最近は少なくなっています。特に、市議会の委員会視察が減りました。

月日	団体	内容	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
4月25日(土)	公募親子	施設見学と畑の学校	9人	6人	2人
5月21日(木)	ボランティア	施設見学とさつまいも苗植え付け	5人	0人	2人
6月6日(土)	公募親子	施設見学とミニミニ田圃の田植え	14人	11人	2人
6月16日(火)	豊島北小3年生	施設見学と玉ネギ収穫	7人	120人	2人
7月11日(土)	関西大学生	施設見学	2人	0人	2人
7月18日(土)	公募親子	施設見学と収穫体験	25人	31人	2人
7月22日(水)	大阪都市公園協議会	施設見学	50人	0人	1人
8月6日(木)	インターンシップ、NPO法人、市教育研究会	施設見学	3人	0人	1人
8月21日(金)	インターンシップ	施設見学	1人	0人	1人
9月3日(木)	豊島北小4年生	施設見学とじゃがいも植え付け	5人	103人	3人
9月4日(金)	インターンシップ	施設見学	1人	0人	2人
9月5日(土)	ボーイスカウト17団	施設見学と大根・人参の種まき	6人	6人	2人
10月1日(木)	東豊台小親子(学校給食を考える豊中市民の会)	施設見学とさつまいも収穫体験	11人	14人	3人
10月6日(火)	田中産業(株)	施設見学	2人	0人	1人
10月10日(土)	公募親子	施設見学とさつまいも収穫体験	23人	26人	2人
10月10日(土)	公募親子	施設見学と稲刈り	10人	11人	2人
10月15日(木)	原田保育所	施設見学とさつまいも収穫体験	2人	25人	2人
10月21日(水)	豊島北小1年生	施設見学とさつまいも収穫体験	11人	104人	2人
10月22日(木)	ふくおか環境財団	施設見学	2人	0人	2人
10月23日(金)	M&Cフレンドクラブ	施設見学とさつまいも収穫体験	19人	17人	2人
10月24日(土)	公募親子	施設見学とさつまいも収穫体験	6人	7人	2人

10月27日(火)	子育て支援センター ほっぺ事業	施設見学とさつまいも収穫体験	49人	35人	2人
11月5日(木)	朝日新聞社	施設見学	1人	0人	2人
11月7日(土)	食育スタディツアー	施設見学と収穫体験	18人	24人	3人
11月9日(月)	PTA 連合協議会 母親委員会	施設見学	38人	0人	1人
11月11日(水)	関西学院大学生	施設見学	1人	0人	1人
11月25日(水)	NPO 法人豊中伊丹 環境政策フォーラム	施設見学	2人	0人	1人
1月15日(金)	NPO 法人豊中伊丹 環境政策フォーラム	施設見学	1人	0人	1人
2月18日(木)	神原市議とインター ンシップ	施設見学と事業の説明	5人	0人	1人
3月10日(水)	豊かな学校給食を考 える会	施設見学	9人	0人	1人
3月13日(土)	公募親子	施設見学と開校式、じゃがいもの 植え付け	16人	14人	2人
合計		31回	354人	554人	55人
			908人		

#### (6) 農体験及び学校等の菜園支援と環境学習

全体の活動回数は53回、参加者数は大人が474人、児童(子ども)が2,977人の3,451人でした。スタッフも延べ175人が対応しました。

活動(「場所」と「内容」)を分類すると、場所では「とよっぴー農園」での農体験が21回、ミニミニ田んぼでの米づくりが3回、学校菜園(田んぼ含む)での栽培指導等(教職員対象と児童対象)が16回、教室での環境教育13回でした。次に対象者を分類すると、保育園関係が3回、学校関係32回(10校)、畑の学校や田んぼの学校その他が18回です。これを場所別で詳細整理すると、①「とよっぴー農園」では作物の植え付けと収穫が主で、作物の種類は植付けがジャガイモ、大根、人参で、収穫がジャガイモ、サツマイモ、玉ネギなどです。植付けから収穫の間の作業については、今回はボランティア等の協力も得ながら実施したため、子ども達は収穫にシフトが移りましたが、一部栽培途中での草刈りや観察を実施しました。農園の作物の様子等はブログでも発信し、また、ケーブルテレビの取材もあり、テレビで食農体験活動の紹介をしていただきました。

例年のことですが、「とよっぴー農園」では天候の影響で計画を変更した場合のほか、本年は、とりわけ新型インフルエンザの関係で急きょ教職員へ変更したケースも起こりました。

学校菜園では畑での植付け指導や田圃での稲作指導に加えバケツ稲づくりの支援もあり、菜園支援の中身が若干、変化しています。また、環境情報サロン横で近くの保育所の子どもたちのバケツ稲づくりを行いました。公園を訪れる人が、通りすがりに眺め、生育の違いなど話題にされて微笑ましくありました。

月日	団体	内容	参加者数		スタッ フ数
			おとな	子ども	
4月22日(水)	少路小5年生	少路小学校で畑の畝立てと野菜の植 え付け	5人	203人	1人
4月23日(木)	豊島北小5年生	豊島北小学校で「とよっぴー」の話・	6人	108人	2人

		おにぎりクイズ・稲や藁の話など			
4月25日(土)	畑の学校②	「とよっぴー」農園で作物づくり(ジャガイモの観察・芽かきと施肥)	9人	6人	7人
4月30日(木)	西丘小5年生	西丘小学校で食のリサイクルと米作りについて(稲作のルーツや文化)	3人	62人	2人
5月8日(金)	野田小2年生	野田小学校で食のリサイクルと農業の楽しさ・野菜の葉っぱあてクイズ	5人	71人	2人
5月14日(木)	豊島北小5年生	豊島北小学校でバケツ苗づくり	5人	118人	1人
5月15日(金)	西丘小5年生	西丘小学校で田植え指導	3人	61人	1人
5月20日(水)	北丘小教職員	新型インフルエンザで休校のため、先生に野菜の植え付け指導	16人	0人	3人
5月21日(木)	庄内西小教職員	新型インフルエンザで休校のため、先生に田んぼづくり指導	8人	0人	1人
6月1日(月)	野田小2年生	野田小学校で野菜の苗の植え付け	3人	71人	2人
6月6日(土)	田んぼの学校①	ミニミニ田圃でバケツ苗づくりと田植え	14人	11人	7人
6月8日(月)	豊島西小5年生	豊島西小学校で食のリサイクルと米作りについての授業	5人	107人	2人
6月11日(木)	てしま保育園	「とよっぴー」農園でジャガイモの収穫作業	4人	27人	2人
6月16日(火)	千成小5年生	千成小学校でバケツ稲の田植え・食育活動	2人	81人	1人
6月16日(火)	豊島北小3年生	「とよっぴー」農園で玉ネギ収穫	7人	120人	6人
6月18日(木)	庄内西小5年生	庄内西小学校で給食のリサイクルの話と作物の葉っぱ当てクイズなど	2人	50人	2人
6月23日(火)	千成小5年生	千成西小学校で給食残渣のリサイクルとお米づくりの話	4人	81人	2人
6月27日(土)	畑の学校③	「とよっぴー」農園でジャガイモの収穫、その他の野菜の観察など	27人	30人	4人
7月1日(水)	少路西小2年生	少路西小学校で農業と食のリサイクルの話	7人	178人	2人
7月3日(金)	豊島北小5年生	豊島北小学校でバケツ稲づくり	4人	108人	1人
7月9日(木)	北丘小3年生	北丘小学校で豊中の地産地消と食のリサイクルの話	3人	25人	2人
7月10日(金)	庄内西小5年生	庄内西小学校で給食の時間に地産地消「玉ネギの話」	2人	50人	2人
7月18日(土)	公募親子	「とよっぴー農園」で野菜の収穫作業	25人	31人	8人
7月25日(土)	田んぼの学校②	ミニミニ田圃での稲の観察と草取り	11人	10人	6人
9月3日(木)	豊島北小4年生	「とよっぴー農園」でのジャガイモの植え付け	5人	103人	7人
9月5日(土)	ボーイスカウト 17団	「とよっぴー農園」での大根・人参の種まき	6人	6人	7人

9月5日(土)	畑の楽校①	「とよっぴー農園」での大根の種まきとジャガイモの植え付け	25人	28人	7人
9月14日(月)	桜塚小4年生	桜塚小学校の屋上菜園で大根の話と種まき	3人	73人	2人
9月15日(火)	少路小2年生	少路小学校で大根の種まき	7人	180人	1人
10月1日(木)	東豊台小親子 (学校給食を考 える豊中市民の 会)	「とよっぴー農園」でさつまいも掘り	11人	14人	4人
10月10日(土)	畑の楽校②	「とよっぴー農園」でさつまいも掘り	23人	26人	4人
10月10日(土)	田んぼの学校③	ミニミニ田んぼで精米の話と稲刈り	10人	11人	5人
10月15日(木)	原田保育所	「とよっぴー農園」でさつまいも掘り	2人	25人	4人
10月20日(火)	ひかり保育園	環境情報サロンでバケツ稲刈り体験	3人	6人	2人
10月21日(水)	豊島北小1年生	「とよっぴー農園」でさつまいも掘り	11人	104人	6人
10月22日(木)	千成小5年生	千成小学校でバケツ稲刈りと授業	2人	81人	1人
10月23日(金)	M&Cフレンド クラブ	「とよっぴー農園」でさつまいも掘り	19人	17人	5人
10月24日(土)	畑の楽校②(補)	「とよっぴー農園」でさつまいも掘り	6人	7人	1人
10月27日(火)	子育て支援セン ターほっぺ	「とよっぴー農園」でさつまいも掘り	49人	35人	8人
10月28日(水)	庄内西小5年生	庄内西小学校でバケツ稲の稲刈り	3人	49人	1人
10月29日(木)	豊島北小5年生	豊島北小学校でバケツ稲の稲刈り	3人	119人	1人
11月7日(土)	食育スタディツ アー	「とよっぴー農園」でさつまいもなど の収穫と、ふかし芋などの試食	18人	24人	7人
11月10日(火)	少路小2年生	少路小学校で給食時に「大根」の話	1人	36人	1人
11月12日(木)	千成小5年生	千成小学校でバケツ稲の稲刈り	2人	81人	1人
11月28日(土)	畑の楽校③	「とよっぴー農園」での収穫	25人	28人	5人
11月28日(土)	とよっぴー倶楽 部	「とよっぴー農園」で収穫体験	24人	25人	5人
12月4日(金)	桜塚小4年生	桜塚小学校で大根収穫	3人	73人	1人
12月5日(土)	ボーイスカウト 17団	「とよっぴー農園」で収穫体験	7人	7人	4人
12月5日(土)	畑の楽校③(補)	「とよっぴー農園」での収穫	1人	1人	1人
12月17日(木)	豊島北小5年生	豊島北小学校でご飯とみそ汁づくり のサポート	4人	119人	3人
1月29日(金)	豊島北小1年生	豊島北小学校で給食時に「とよっぴー と生産者の話」	2人	27人	2人
2月2日(火)	庄内西小5年生	庄内西小学校で育てたお米でご飯を 炊く授業・米の話	3人	49人	1人
3月13日(土)	野菜づくり楽校 ①	「とよっぴー農園」でジャガイモの植 え付けと工場見学 開校式	16人	14人	9人
合計	53回		474人	2,977人	175人
			3,451人		

## (7) 地産地消の活動

### ア 「とよっぴー」を使った地場産野菜の頒布活動

毎月第 2 水曜日に豊中市生活情報サロン「くらしかん」で開催される「地産地消イベント」に継続参加し、さらには単独での「地場産野菜」の頒布を追求してきた結果、過去最高の 23 回の頒布実績をあげることができました。とくに、新たな場所での定期頒布の回路が開かれ、今後も常設での頒布の場所が確保できる展望も生まれています。この場合、日常的に出品ができるか大きな課題ですが、これまでの努力の積み重ね成果といえます。

提供していただく農家も、会員である農業者に加え豊中市農業者経営協議会研究部会員の協力も臨時的に得ることができるとともに、賛同者も増加して多い時には 5 軒の農家からの出品があるようになりました。

野菜は多種類が出品され、また、季節折々の野菜が出色で購入者からは好評を得ているところです。購入者数は月ごとに変動があり、一番少なかった時期には翌月の実施前に開催場所の周辺住宅に宣伝ビラをポスティングしてご案内（毎回、次回の出品野菜の種類を記述した通信発行）を新たな展開（さわ病院）も含め実施しています。

「地産地消イベント」以外では「くらしかん祭り」と例年実施している「連合豊中メーデー」「環境展」「コラボ祭り」「千里西町フェア」等に出品しました。

実施日	イベント名	農園名	販売野菜ほか	数量 (個)	購入者 数	スタッ フ数
4月 8日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田	野菜 9 種	133	50 人	8 人
4月 29日 (水)	連合メーデーバザー	光久	野菜 6 種	59	30 人	3 人
5月 13日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田	野菜 12 種	183	70 人	8 人
6月 10日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田	野菜 12 種	98	40 人	8 人
7月 8日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田	野菜 15 種	110	45 人	7 人
7月 18日 (土)	新千里西町フェア	光久・岸田・柳沢	野菜 19 種	245	98 人	6 人
7月 22日 (水)	岡町商店街	光久・岸田・橋本・柳沢	野菜 16 種	201	80 人	9 人
8月 12日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・柳沢	野菜 20 種	163	45 人	8 人
9月 9日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・柳沢	野菜 13 種	145	63 人	9 人
10月 14日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・柳沢	野菜 14 種	163	70 人	10 人
10月 17日 (土)	とよっぴーまつり	光久・岸田	野菜 15 種	248	99 人	6 人
10月 18日 (日)	コラボまつり	光久・岸田	野菜 16 種	141	56 人	4 人
10月 24日 (土)	くらしかんまつり	光久・岸田	野菜 15 種	243	97 人	5 人
11月 11日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・柳沢	野菜 19 種・ 花 1 種	162	70 人	8 人
12月 9日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・柳沢	野菜 19 種・ 花 1 種	166	71 人	10 人
12月 12日 (土)	環境展	光久・岸田・岸本・柳沢	野菜 17 種・ 花 1 種	267	107 人	5 人
12月 18日 (金)	ときヨシエンタープ ライブ	光久・岸田・岸本・柳沢	野菜 18 種・ 米・花 1 種・ 他 3 種	348	139 人	11 人
1月 13日 (水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・照月堂	野菜 16 種・ 他 1 種	141	61 人	9 人

1月15日(金)	ときヨシエンタープ ライズ	光久・岸田・岸本・ 橋本・柳沢・照月堂	野菜18種・ 米・花1種・ 他2種	259	104人	14人
2月10日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本	野菜12種	98	39人	8人
2月16日(火)	さわ病院	光久・岸田・岸本・ 橋本・照月堂	野菜18種・ 米・他3種	258	65人	9人
3月10日(水)	くらしかん地産地消	光久・岸田・岸本・ 柳沢・照月堂	野菜19種・ 他2種	187	75人	3人
3月25日(木)	さわ病院	光久・岸田・橋本・ 柳沢・黒田・照月堂	野菜12種・ 米・他2種	228	57人	8人
合計	23回			4,246	1,631人	176人

#### イ 給食食材への地場産野菜の納入

会員協力農家2軒が定期的に季節野菜を給食食材として納入しています。また、前述の豊中市農業者経営協議会研究部会が「たまねぎ」を一斉納入するなど、「地産地消」活動としての地場産野菜の給食納入が定着してきました。量的には多くありませんが、典型的な都市部にかかわらず「地産地消」活動は着実に前進しています。

なお、給食食材の納入については関係者による「地産地消連絡会」を正式に設けて情報交換できるようになっています。

#### (8) 花いっぱい運動

地域の空間(公園等)を利用して地域の人々が花を育てる「花いっぱい運動」は「とよっぴー」を媒介に活動が広がっています。入退会はあるものの現在34か所で取り組みがなされており、豊中市主催の「花いっぱい運動写真展」には一括出品し、あわせて年1回の総会・交流会を兼ねた懇談の場を確保しています。今回の総会・交流会は一般市民にも輪を広げた場として開催しました。

#### (9) 学校・幼稚園における菜園支援の活動

一昨年から実施をしています学校等における菜園支援の活動は、相手側の評価もあって年々、支援を希望する小学校等が増えています。

本活動は、直接ニーズのある小学校等に出向き、菜園での作物栽培のアドバイスをを行う一方、児童との連携を通じて教室での「食と農」の環境学習も実施しています。毎年度、ニーズ調査を行い、学校側と面談して詳細を協議して支援体制を確立するようにしており、学校側との連携も深まってきました。

なお、本活動も3年を経過したことから、新年度で総括書を作成することになっており、また、支援対象校をそう広げないで質の高い関係づくりに配慮する方向に立っています。

#### (10) 保育所・園の堆肥化支援

継続して関係する保育所・園での堆肥化支援の体制を堅持して活動を推進しています。職員の異動等で一時的に停滞する状況もありますが、全保育所における生ごみ(給食残渣類)の堆肥化を展望しながら関係を強めており、素晴らしい取り組みがなされる保育所も生まれています。

特に、保育所関係者を対象にした講座を開設しました。

#### (11) 「とよっぴー倶楽部」の活動

緑と食品のリサイクルプラザで製造される土壌改良材を活用される市民に対し、堆肥化事業を支援し



ていただくため倶楽部を結成しています。当初は順調に会員が伸びましたが、現在は停滞域に入っています。この点は、更新期の段取りがうまく機能しないこともあり、会員証の改善や優待頒布等の特典を設け、拡大を図る努力を進めています。

昨年4月からは倶楽部会員はNPOの賛助会員にも位置づけ、NPOと一体のものとして財政的な措置も可能な体制を確立しました。

### (12) ホームページの改造とブログの開設

基盤整備の一環として情報発信機能の充実とコミュニケーションの拡大を展望してホームページの改造とブログの開設に着手しました。ホーム・ページは基本的でかつ固定的な情報（組織形態や活動の種類その他）に限定した発信にするための作業を続行していますが、日々の用務に追われ進展がしていません。NPO アジェンダ 21 全体での改造に着手することもあり現在、順次その作業を進めています。ブログは2009年1月中旬にスタートし、日々の活動の様子を写真添付のうえ、即時に伝える仕組みを設けて発信を続けています。開設して以来約1年で10万件を超え、大体1日200件を超えるアクセス数になっています。

### (13) 落ち葉堆肥のモニター活動

市内の企業と連携してガーデンバックを活用した堆肥化活動を推進しています。この活動はアジェンダ 21 の改定にあわせてプロジェクト活動の位置づけも含め本年4月から再募集をはじめました。企業連携と資源循環の活動として中間総括を踏まえて秋には取り組み結果を集約する予定です。

## 10. 地球温暖化対策プロジェクト

地球温暖化対策プロジェクトでは、2007年に豊中市が策定した「豊中市地球温暖化防止地域計画」に基づいて、2008年度に豊中市が提案公募型委託事業として公募された「地球温暖化対策推進のための仕組みづくり事業」に応募・受託し、事業の推進を軸に活動してきました。2009年度は、「市民向け地球温暖化対策推進モデル事業」として実施しました。

### (1) 市民向け地球温暖化対策推進モデル事業

#### ア モデル実施の検討

モデル実施に際して、プロジェクト内での打合せ、および、豊中市との打合せを毎月実施しました。

期間	内容	回数
4月～3月	プロジェクト内での打合せ	のべ16回
4月～3月	豊中市との打合せ	のべ11回

#### イ 省エネ相談会の実施

豊中市内の商店街やイベントで省エネ相談会を実施、参加者にエコポイントチケット「とよか」を配布しました。

日時	場所 (イベント)	参加者数				とよか 配布枚数
		家電	住宅	ガス	計	
6月5日(金) 10:00～16:00	岡町・桜塚商店街 (初金市)	37人	18人		55人	102枚
6月7日(日) 10:00～16:00	コープ桜塚	49人			49人	98枚
6月14日(日) 10:00～16:00	コープ東豊中	42人			42人	84枚
7月18日(土) 11:00～15:00	新千里西町商店街 (千里西町ふれあいフェア)	49人			49人	96枚
7月19日(日) 11:00～15:00	新千里東町商店街 (新千里東町ふれあいフェア)	36人			36人	72枚
7月22日(水) 13:00～16:00	岡町・桜塚商店街	13人			13人	24枚
8月19日(水) 14:00～19:00	庄内西本町商店街 (庄内まつり)	58人	30人		88人	160枚
9月29日(火) 10:00～14:00	庄内図書館	27人	8人		35人	70枚
10月18日(日) 10:00～13:30	千里文化センターコラボ (コラボまつり)	26人	8人		34人	68枚
10月24日(土) 10:00～15:00	くらしかん (くらしかん祭り)	98人	63人		161人	308枚
11月7日(土) 11:00～15:00	曽根商店街 (そね坂まつり)	53人	35人		88人	176枚
12月11日(金) 10:00～16:00	市民会館 (とよなか市民環境展)	25人	8人	3人	36人	56枚

12月12日(土) 10:00~16:00	市民会館 (とよなか市民環境展)	47人	18人	14人	79人	134枚
合計	13回	560人	188人	17人	765人	1,448枚

#### ウ 省エネマイスターの研修

まちの電気店などを対象に「とよなか省エネマイスター」の研修を行いました。研修を修了し、豊中市に登録したマイスターは、家庭へ訪問しての省エネ診断の実施者となりました。

日時	場所	講師	出席者数
5月15日(金)	中央公民館	(有)ひのでやエコライフ研究所 鈴木靖文さん	27店 37人
7月21日(火)	環境情報サロン	とよなか市民環境会議アジェンダ 21 など	3店 3人

※出席者のうち、26店 36人が「とよなか省エネマイスター」として登録

#### エ 省エネ診断の実施

豊中市に登録された「とよなか省エネマイスター」が家庭に訪問し、家電の状況を診断してアドバイスをするという省エネ診断を行いました。診断を受けた方と、加えて診断後に対象の電気製品に買い換えた方へはエコポイントチケット「とよか」を配布しました。

種別	実施店舗数	診断数	買い替え			
			エアコン	テレビ	冷蔵庫	合計
顧客	9店	53軒	13台	13台	6台	32台
一般	8店	9軒	0台	2台	0台	2台
合計	14店	62軒	13台	15台	6台	34台
とよか配布枚数		295枚	250枚			

※顧客と一般の両方を実施した店舗があり、実施店舗数の合計は一致していません

※診断と買い替えの際のエコポイントチケット「とよか」の配布枚数は一致していません

#### オ 他地域の先行事例調査

豊中市外の先行地域の事例調査を行いました。

月日	調査先	参加者数
10月14日(水)	京のアジェンダ 21 フォーラム主催「省エネ相談所」見学	1人
3月13日(土)	積水ハウス総合住宅研究所・納得工房	8人

#### カ エコポイントチケット「とよか」の配布

省エネの取り組み内容に応じて、エコポイントチケット「とよか」の配布を配布しました。なお、「とよか」は、1枚あたり100ポイント(100円相当)のチケットです。

配布方法	ポイント数	内訳	配布枚数
省エネ相談会	1回 200ポイント	13回 合計 1,448枚	1,448枚
省エネ診断	1回 500ポイント	62件実施	295枚
買い替え	家電 1,000ポイント ポット 200ポイント	家電 34件	250枚
エコライフカレンダー	ハガキ 1枚 100ポイント	中間発送 149人 427枚 12月発送 157人 321枚	748枚
基金への寄付	寄付額の10%、上限あり		5,737枚

その他の活動	愛称募集	優秀賞 10,000 ポイント 佳作 3000 ポイント	優秀賞 (3人) 99 枚 佳作 (5人) 150 枚	249 枚
	バスエコキャン ペーン	1回 100 ポイント	35 人参加	35 枚
	企画屋本舗省エ ネイベント	1人 600 ポイント	10 人参加	60 枚
	環境展(省エネ相 談会除く)	内容ごとに 100 ポイン ト、または 200 ポイント	エコライフミニチェック 52 件 電車・バスで来場 42 件 廃油回収 17 件	128 枚
合計				8,950 枚

#### キ 関係者調整

モデル実施に伴い、豊中市内の事業者や商店街関係者などと調整を行いました。

期間	内容	回数
4月～3月	関係団体との調整・連絡	のべ 43 回

#### ク 協議会の運営

豊中市と協力して、「豊中市チャレンジマイナス 70 推進協議会」を開催しました。

	日時	場所
第 1 回	4月 20 日 (月) 19:00～21:00	福社会館第 2 会議室
第 2 回	10月 21 日 (火) 19:00～21:00	市役所第二庁舎 3 階大会議室
第 3 回	11月 18 日 (火) 19:00～21:00	市役所議会棟 2 階大会議室
第 4 回	2月 20 日 (金) 19:00～21:00	市役所第二庁舎 3 階大会議室

#### ケ 広報活動

取り組みを PR を行い、さまざまな広報媒体でとりあげられました。また、この他にもチラシ等の配布や豊中市の環境報告書等での掲載などもありました。

月日	内容	備考
6月 4 日 (木) ～	専用ホームページの開設・更新	のべ 30 回更新
6月 5 日 (金)	NHK ニュース 18:10～「ニューステラス関西」 20:45～「関西 845」で紹介	
6月 13 日 (土)	毎日新聞掲載	
6月 23 日 (火)	FM 千里 13:00～「ごごイチ」で紹介	
8月～	広報とよなか 8月号特集掲載	
9月 1 日 (月) ～30 日 (火)	くらしかん生活情報ひろばでパネル展示	
10月 5 日 (日) ～11 日 (土)	豊中・池田ケーブルネット「かたらいプラザ」で紹介	

#### (2) 定例会

土曜日を中心に、毎月 1 回の定例会を環境情報サロンにて開催しました。

月	4月 18 日	5月 16 日	6月 27 日	7月 25 日	8月 15 日	9月 26 日
出席者	7 人	6 人	11 人	9 人	9 人	11 人
月	10月 21 日	11月 21 日	12月 19 日	1月 16 日	2月 20 日	3月 20 日
出席者	5 人	9 人	6 人	8 人	8 人	9 人

(参考) 2009年度(平成21年度)各部会・プロジェクトに参画した豊中市の部署

部会・プロジェクト	参画部署名
生活部会	環境部 環境政策室※
	環境部 廃棄物対策室 減量推進課
	市民生活部 消費生活課
	豊中市伊丹市クリーンランド
自然部会	環境部 公園みどり推進課※
	環境部 環境政策室
	土木部
事業部会	環境部 環境政策室※
	環境部 廃棄物対策室 減量推進課
	市民生活部 地域経済振興室
交通部会	環境部 環境政策室※
	土木部
竹炭プロジェクト	環境部 公園みどり推進課※
企画屋本舗	環境部 環境政策室※
花と緑のネットワークとよなか	環境部 公園みどり推進課※
	環境部 廃棄物対策室 減量推進課
	豊中市伊丹市クリーンランド

※印：主担当

## 2009年度（平成21年度）収支計算書

2009年（平成21年）4月1日～2010年（平成22年）3月31日

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

（単位 円）

科目	予算額(ア)	決算額(イ)	差異(イ)-(ア)	備考
<b>I 収入の部</b>				
1 会費収入	950,000	844,000	△ 106,000	
個人会費	300,000	274,000	△ 26,000	1,000×274口
団体会費	650,000	570,000	△ 80,000	5,000×114口
2 事業収入	657,000	1,166,466	509,466	参加費、頒布金
3 助成金収入	265,000	225,816	△ 39,184	NEDO
4 寄付金収入	100,000	253,495	153,495	
5 負担金収入	10,488,040	10,738,040	250,000	豊中市
6 受託事業収入	8,518,000	8,732,000	214,000	豊中市
7 堆肥頒布事業収入	1,300,000	1,824,000	524,000	
8 雑収入	5,000	817	△ 4,183	預金利子
当期収入合計(A)	22,283,040	23,784,634	1,501,594	
前期繰越金	1,378,889	1,378,889	0	
収入合計(B)	23,661,929	25,163,523	1,501,594	
<b>II 支出の部</b>				
1 一般事業費				
外注費	746,000	790,503	44,503	環境展等
諸謝金	771,000	703,000	△ 68,000	
賃借料	402,000	444,550	42,550	会場費等
消耗什器備品費	434,500	476,812	42,312	
印刷費	1,663,600	1,287,849	△ 375,751	
通信運搬費	517,540	419,775	△ 97,765	郵便、メール便等
事務消耗品費	336,000	149,938	△ 186,062	
旅費交通費	1,952,100	1,478,883	△ 473,217	
保険料	58,000	34,040	△ 23,960	
雑費	114,000	75,588	△ 38,412	
労務費	5,620,000	5,595,189	△ 24,811	温暖化対策費用を含む
一般事業費計	12,614,740	11,456,127	△ 1,158,613	
2 堆肥頒布事業費	1,300,000	1,824,000	524,000	
3 管理費				
賃金手当	8,200,000	8,299,202	99,202	職員2人
福利厚生費	22,000	16,109	△ 5,891	事務局用お茶代等
賃借料	170,000	177,660	7,660	コピー機リース代
消耗什器備品費	40,000	193,502	153,502	事務局備品
印刷費	220,000	272,806	52,806	コピー代等
通信運搬費	130,000	148,066	18,066	電話、送料、プロバイダ等
事務消耗品費	140,000	98,583	△ 41,417	文具、紙類等
旅費交通費	5,000	600	△ 4,400	
保険料	40,000	36,500	△ 3,500	ボランティア保険
雑費	20,000	21,285	1,285	振込手数料、印紙等
管理費計	8,987,000	9,264,313	277,313	
4 予備費	760,189	0	△ 760,189	
当期支出合計(C)	23,661,929	22,544,440	△ 1,117,489	
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,378,889	1,240,194	2,619,083	
次期繰越金(B)-(C)	0	2,619,083	2,619,083	

2009年度(平成21年度) 貸借対照表

2010年(平成22年)3月31日現在

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	3,637,302	流動負債	1,018,219
現金	69,256	未払金	966,219
預金	737,046	預り金	52,000
三井住友銀行	731,185		
近畿労働金庫	5,861		
ゆうちょ銀行	0		
未収入金	2,831,000		
立替金	0		
固定資産	0		
		繰越金	2,619,083
合計	3,637,302	合計	3,637,302

2009年度(平成21年度) 財産目録

2010年(平成22年)3月31日現在

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

(単位 円)

科目・摘要	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	69,256		
普通預金三井住友銀行	731,185		
普通預金近畿労働金庫	5,861		
通常貯金ゆうちょ銀行	0		
未収入金	2,831,000		
立替金	0		
流動資産合計		3,637,302	
2. 固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			3,637,302
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	966,219		
預り金	52,000		
流動負債合計		1,018,219	
2. 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,018,219
正味財産			2,619,083



2009年度（平成21年度）事業報告及び決算に関する監査報告について


2009年度特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21事業報告、財産目録、貸借対照表、収支決算書について、関係書類、預金通帳等を監査しましたところ、いずれも適正に執行管理されていることを認め報告いたします。

2010年（平成22年）6月4日

特定非営利活動法人  
とよなか市民環境会議アジェンダ21  
理事長 新開悦子様

監事

易 信子 

中井健之 

# 特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 2010年度（平成22年度）事業計画（案）

## 1. 全体方針

### 『事業成果・市民活動としての展開』

2010年度は、当法人においてさまざまな事業の成果を求められる年になります。「第2次豊中アジェンダ21」は、2011年度の総会で内容を審議するため、当法人では策定委員会の事務局として2010年度中に原案の完成に向けて取りまとめます。あわせて、2010年度は第2次のスタートに先行し、行動提案に対するいくつかのリーディングプロジェクトが取り組まれますが、当法人としても独自に落ち葉堆肥モニタープロジェクトなどを行います。

また、当法人で3年前から取り組み始めた活動記録集「協働の方程式」（10年のあゆみ）は、1999年に策定した「豊中アジェンダ21」の10年の総括として、2010年度中の完成をめざしています。その他、2005年に「豊中アジェンダ21」に改定した際に、当法人が「私たちの約束ごと」として設定した7つの目標や、既存の88項目の行動提案に対しては、引き続き評価・検証を行なっていかなければなりません。

部会・プロジェクト活動においても、地球温暖化対策プロジェクトは、豊中市と協働で取り組んでいる事業が3年間の最終年となるため、温室効果ガス削減につながる具体的な成果を求められています。

その一方、当法人は市民のボランティア活動によって成り立っている市民団体であることを失ってはなりません。市民ができること、事業者ができること、行政ができることを明確にし、相互に補完、連携、協働しながら展開してきた経過を踏まえ、今後の活動のあり方を再確認していく必要があります。

各部会・プロジェクトの活動として、自然部会は「国際生物多様性年」の今年にあわせて、自然消失をストップさせる知恵を出し合い、さらなる取り組みを行っていきます。交通部会はここ数年あまり活動できていなかったため、まずは自転車を使って交通環境学習などの取り組みからはじめます。また、今年度からは若手メンバーが中心となった「あい・あいプロジェクト」を設置し、環境問題について“学びあい”ながら担い手を広げていきます。市民活動としてできるところから取り組み、ボランティアメンバーにとって無理のない範囲で課題に対して展開していきます。

## 2. 全体事業

### （1）NPO 法人運営

NPO 法人の組織運営のため、定款に基づき、総会、理事会、特別理事会等を随時開催し、法人としての意思決定、情報交流、活動の企画運営等を進めていきます。また、このような法人運営事務や活動全般の事務作業のため、事務局をおいています。

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：85・86・88

### （2）環境情報サロンの運営

豊中市から運営を受託し、活動の拠点である「環境情報サロン」については、日常的な情報提供の他、これまでに設置してきた雨水タンクや太陽光パネルの活用や行事での利用など、より一層の活用を図っていきます。

- ・おもちゃ病院 隔月の第2土曜日 10時～12時 こわれたおもちゃを修理します
- ・わいわいクラブ

- ・陶器とりかえボックスの設置
- ・豊中まつりでの「環境情報サロンパネル展」

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：82・84・85

### (3) 「第 2 次豊中アジェンダ 21」の策定

策定主体であるとよなか市民環境会議と協力し、第 2 次豊中アジェンダ 21 策定に向けての取り組みを行います。リーディングプロジェクトの実施や策定委員会の協働運営を通して、2010 年度は第 2 次豊中アジェンダ 21 の完成をめざします。また、第 2 次環境基本計画についても、第 2 次豊中アジェンダ 21 と両輪の位置づけであることを踏まえ、内容の調整を図っていきます。

- ・リーディングプロジェクトの実施（4 グループ）
- ・策定委員会への参加・運営（12 回）
- ・「第 2 次豊中アジェンダ 21」の策定

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：79・80・85・86

### (4) 「協働の方程式」（10 年のあゆみ）の作成

1996 年に設立した「とよなか市民環境会議」から現在までのあゆみをまとめ、2010 年度の完成をめざします。第 2 次豊中アジェンダ 21 の策定のタイミングにあわせて発行することで、協働で取り組んできたこれまでの成果や蓄積、課題を明らかにします。なお、予算措置については、別途検討して対応します。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：85・86

### (5) とよなか市民環境展 2010 の開催

環境基本計画と共有する環境目標の中に、協働・パートナーシップ型活動の指標として環境展の参加者数があげられていることから、今年度の環境展についてもより充実したものにしていきます。今年度は 12 月 10 日（金）・11 日（土）に開催する予定です。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：79・80・85・86

### (6) エコ SUN 市民発電（市民共同発電）事業

市民共同発電は、第 1 号機を契機に次の発展をめざすことを当初の狙いとしていました。しかし、市施設等への設置でのさまざまな制約条件等や、設置費用確保の難しさから事実上ストップしている現状にあります。

この間、市助成制度の実施や買い取り価格の制度変更に伴い、太陽光発電を設置する市民等が増加することが期待されています。第 2 号機の設置に向けて活動を具体化することでなく、むしろ普及啓発をはじめ設置者との情報交換や連携を模索することが必要な時期に入っていると認識しています。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：1・5・52

### (7) 環境学習の推進

出前の環境学習リストを作成して広く配布し、学校・団体などからの希望があれば、リストに応じた部会・プロジェクトが講座を行っています。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：76・77・78

### (8) 服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進連絡協議会事業

大阪府池田土木事務所、豊中市と協働で事務局運営を行い、地域の組織や団体が主体的に地域の環境づくりに関わられるような取り組みを進めていきます。事業は助成金の獲得や費用がかからない方法を試行しながら取り組みます。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：22・24・27・33・34・74・76・77・79・80

### (9) ESD

2005年1月より国連「持続可能な開発のための教育(ESD)」の10年が始まり、地域でもこのESDを進めようと、豊中においてNPO、市の外郭組織、市、教育委員会などがゆるやかな連携で取り組みを始めています。当法人としては、2009年度に再編されたESDとよなか連絡会議に引き続き参加し、広い意味での環境学習(あらゆる年齢層への働きかけ、人材育成、参加)に資する取り組みとして今後の活動の広がりにつながることを期待し、積極的に参画しています。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：76・77・78・79・80・81・82・83

### (10) ゴーヤネットワーク

地球温暖化やヒートアイランド対策として、ゴーヤによる「緑のカーテン」づくりを市民などに対して普及、支援する取り組みを今年度も行います。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：79・80・85

### (11) 多様な団体との連携事業

豊中市内外の環境分野以外の団体も含めた多様な組織・団体と連携し、様々な機会、様々なスタイルで、イベントや行事、事業に参加していきます。例えば、豊中市内では、くらしかん登録グループに登録し、毎月開催される地産地消イベントや生活情報ひろばでのパネル展示、くらしかん祭りへ参加など、豊中市外では、きんき環境館のパートナーシップ団体登録やイベントへの出展などが想定されます。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：79・80・85

### (12) 広報活動

豊中アジェンダ 21 を進める活動をより多くの人に知ってもらうため、ニュースレターの発行やホームページの運営、イベントでの展示、ケーブルテレビやFMラジオへの出演、ミニコミ誌やタウン誌への情報提供など、多様な情報媒体を利用して情報の発信を行っていきます。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：85・86

## 3. 生活部会

### (1) エコライフカレンダーをつけて地球環境を守ろう

- ・エコライフカレンダー(環境家計簿)による省エネ型ライフスタイルの普及啓発を推進します。
- ・家庭での電気・ガス・水道・ガソリンなどのエネルギーの節減や無駄使いを見直すため、環境家計簿を組み込んだ豊中市民版エコライフカレンダーを作成し、豊中市民を対象に、各家庭での省エネ、効率的なエネルギー利用の普及啓発に努めます。
- ・2011年版エコライフカレンダーを1,200部作成し、出前環境学習、とよなか市民環境展、その他省エネイベントなど啓発活動を通じてエコライフカレンダーモニター会員の増加を図ると共に、温

暖化防止の行動を広く市民に呼びかけます。

- ・エコライフカレンダーのモニターから寄せられた各家庭での二酸化炭素排出量の集計処理については、太陽光発電設置のモニターが 2010 年度も増加が見込まれるなか、二酸化炭素の排出量の分析解析内容をより精度をあげ、エコライフカレンダー活動をさらに多角的に進め、省エネ・温暖化防止活動に役立てます。
- ・モニターによるデータを集計・考察を行い、「まとめ集」を発行します。
- ・モニター倶楽部（モニター通信）を発行します。
- ・エコライフカレンダー印刷費・データ処理費用、省エネルギー学習会費用については NEDO 他の補助金を申請します。
- ・省エネミニチェック表の作成と活用の機会を増やします。
- ・地球温暖化対策プロジェクトと連携した活動を行います。

\* 関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：4

## (2) 環境学習（環境教育）で環境人を育て増やそう

- ・省エネの学習会などを開催し、電気・ガスなど、家庭での上手なエネルギー利用について理解を深める。
- ・エネルギーの“見える化”などをより試みた体験学習会の開催
- ・環境学習のメニューづくりと指導員の育成
- ・環境関連施設の見学会や学習会を実施

\* 関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：76・77・78

## (3) 地球温暖化の防止と省資源・循環の暮らしを推進しよう

- ・環境に配慮した省エネ商品などの活用による省エネの啓発・促進
- ・グリーンコンシューマーに関する活動
- ・3R の推進をくらしの視点から考え、省資源で循環型社会をめざす
- ・「わいわいクラブ」を創設し、多様な取り組みを行う
- ・環境関連情報の収集と調査

\* 関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：6・7・11・12・14

## 4. 自然部会

生物多様性の維持にむけての活動を継続、拡大します。

1992 年ブラジル・リオデジャネイロでの地球サミットで「生物多様性条約」が採択されてから 16 年が経過し、日本でも 2008 年に「生物多様性基本法」が制定されました。第 5 条には“地方公共団体の区域の自然的社会的条件の応じた施策の策定と実施する責務を有する”と明記されています。当部会は①自然に親しみ学ぶ、②自然を守り育てる、③自然をつくり育てる、を 3 本柱に活動していますが、近年特に山地、農地、湿地の減少で、自然領域の減少に歯止めがかかっていないのが現状と考えています。新修豊中市史「自然編」(1999 年発行)にみられた豊中の自然や生き物は今どうなっているのでしょうか。

生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性、わたしたち豊中に住む人もそのつながりの一部です。生物多様性条約第 10 回締約国会議が日本（名古屋市・10 月）で開催される今年こそ、自然消失をストップさせる知恵を出し合い、さらなる手立てをつくす年と考えています。本年はこれまでの活動を継続しつつ、第 2 次豊中アジェンダ 21 策定については、第 1 次に勝る内容になるよう提案します。

## (1) 自然を守る活動

### ・島熊山の自然を守る活動

島熊山緑地保全活動 毎月1回(年12回 適宜追加活動を実施)  
雑木林に侵入した竹の伐採、倒木や枯枝の整理  
古池の各種調査および生物多様性の取り組み  
自然観察路の整備

### ・猪名川自然林を守る活動(年2回)

林床の保湿作業(杭打ちし、横木に倒木を利用し、落ち葉溜まりを作る)  
ササ刈りと不法投棄ゴミの片付け作業

### ・天竺川の自然を守る活動(年2回、生き物調査は随時)

生き物調査と川床の投棄ゴミの清掃

### ・羽鷹下池の自然を守る活動(年2回)

フェンス内のクズ刈り、草刈り、植物調査

\*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:24・25・26・27

## (2) 自然学習講座

豊中アジェンダ21の実現のため、自然に関する様々な分野で研究や活動などされている学識者を講師にお迎えし、市民と行政とアジェンダ21会員が共に学習し、「自然の豊かな豊中にしていこう」と開催しています。「豊中の自然を見つめみんなで考えよう」を大テーマに1999年度から年3回開催の継続事業です。

・2010年度は、この事業開始時の大テーマに立ち戻り、豊中の自然を学ぶ講座を主に計画

\*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:21・24・25・34

## (3) 自然ふしぎ発見クラブ

- ・目的:近年、低年齢時の自然体験の重要性が認識され、この事業の開催目的を再確認しました。子どもたちを中心に、四季をとおした自然体験の場を提供します。
- ・内容:身近な自然の中で自然観察や野遊び、クラフト作りなどをします
- ・対象:5歳以上の子ども(小学校3年生以下は保護者同伴)
- ・回数:年6回、主に土曜日2時間

\*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:22・24・25

## (4) 自然観察会

- ・目的:一般市民に自然に親しみ学ぶ場の提供  
初夏の自然観察会(2010年6月開催予定)  
水生生物観察会(2010年7月開催予定)  
鳴く虫観察会(2010年9月開催予定)  
野鳥観察会(2011年2月開催予定)

\*関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目:22・24・25

## (5) 身近な生き物しらべ

- ・市民参加の生き物しらべ
- ・今年度の事業「写真による豊中のむし調べ2010」を実施

- ・目的：カメラを通して豊中の“むし”を発見する  
     “むし”を通して豊中の自然に親しむ  
     豊中の“むし”マップをつくる  
     豊中の“むし”の大まかな全体像をつかむ
- ・調査期間：2010年4月～10月  
     調査期間の7ヶ月を4月～6月、7月～8月、9月～10月の3期に分ける
- ・調査方法：市民調査員（調査協力者）を公募  
     調査協力者のカメラで撮影したデータを指定の提出日に事務局へ持ち込み、または郵送
- ・環境展 2010 でパネル等で発表
- ・まとめの冊子作成
- ・報告会の開催
- ・写真展の開催
- ・2009年度調査データとあわせ、確認種リストを作成

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：21・22

#### (6) 春日町竹林

- ・ヒメボタル生息地（草地、竹林）の整備作業（年5回）
- ・ヒメボタル保護者会の構成メンバーとして、豊中アジェンダ 21 の実行団体（自然環境団体）の立場で参加

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：24・25

#### (7) ビオトープ作りと管理

- ・上野坂ビオトープ（上野坂2丁目第4公園内）  
     池、草地の手入れ（自然度を高める作業）  
     自然観察会  
     自然変化の記録（草木、昆虫、水生生物など）
- ・新たなビオトープ作りに対応

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：33・34

#### (8) 希少植物調査・とよなかーのデータを活かした種の保全活動及び追加・未調査地の調査

- ・2008年3月に「レッドデータブック豊中」としてまとめたが、調査が四季にわたっていないことや未調査地があり、今年度も継続調査を実施
- ・希少種保全調査（希少種植物再確認調査）
- ・補充調査のまとめの作成

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：21・24・25・26・30

#### (9) タンポポ調査 西日本 2010・とよなか

タンポポ調査は自然環境を知る指標の一つとして、1974年から大阪自然環境保全協会が大阪府内を対象に呼びかけて開始されました。豊中では1980年から豊中生物同好会と野山に学ぶ会が中心に5年ごとに実施していましたが、2000年、2005年は、当自然部会が中心となり継続しています。調査の組織、範囲は調査年ごとに拡大し、2010年は近畿、四国、九州の19府県が参加した「タンポポ調査・西日本 2010」への参加・協力を行います。

- ・調査期間：2010年4月13日～5月13日
- ・調査員：公募は行わず、自然部会員や豊中の自然を保全・復元する活動団体で実施
- ・まとめの冊子「タンポポ調査2010・とよなか」の作成  
「タンポポ調査・西日本2010」は調査結果を調査本部事務局へ提出しますが、別途調査用紙に記入されたデータを独自にまとめ、「タンポポ調査・2010とよなか」を作成します。

#### (10) その他（地域団体支援、交流、部会会議等）

- ・自然部会定例会（月1回）
- ・必要により臨時部会
- ・部会員研修会、観察会
- ・くらしかん事業及びくらしかん祭り
- ・豊中まつり
- ・市民環境展
- ・行政、学校、公民館、地域への支援、協力事業

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：21～37・42・76～86

#### (11) 豊中の自然を保全・復元する活動団体ネットワーク

2007年全労済地域貢献助成を受け、2008年7月31日に終了しましたが、2010年度も事業を継続し、自然保全復元活動情報の共有や、交流を行います。

- ・「豊中自然探訪マップ」を配布し、広く豊中の自然を知ってもらう
- ・自然探訪「わがまちの品格 保護樹木・大木・古木を訪ねて」の開催
- ・ネットワーク団体間の情報の提供
- ・ネットワーク団体からの共催事業依頼に対応
- ・市民環境展への出展参加依頼と親睦と交流

豊中の自然を保全・復元する活動団体（豊中アジェンダ21の推進と生物多様性保全の活動）

NPO法人豊島北ビオトープクラブ、どんぐり山を守り育てる会、  
上野丘自治会・まちづくり委員会、グリーンリーフクラブ、豊中ヒメボタル保護者会、  
羽鷹池を守る会、島熊山緑地協議会、島熊山の雑木林を守る会、服部緑地の自然を育てる会、  
竹レンジャー、大阪大学キャンパスデザイン室、大阪府立刀根山高等学校、  
NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21（自然部会、竹炭プロジェクト）

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：21・22・25・26・32・33・34・36・79

#### (12) 未来の森づくり

新たな豊中の森づくりをめざして、環境展2008からスタートした事業の継続と拡大推進を行います。

- ・昨年の環境展の参加家庭で育成中の幼木育成状況の把握と集約
- ・島熊山など豊中産の木の実（どんぐりなど）を発芽させて、次世代への森づくり  
どんぐりひろい  
環境展などで、どんぐりの植付け（竹ポット）  
苗木の植え付け
- ・中期・長期計画の作成

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：22・24・25・33・34・36



## 5. 事業部会

### (1) 学習会・説明会

- ・市民を対象に、豊中市内の事業者の環境活動を紹介するような学習会やフォーラムの開催
- ・環境マネジメントシステム（EMS）のさらなる普及に向けた学習会の開催
- ・エコアクション21説明会とスクールの開催（エコアクション21地域事務局大阪主催の「エコアクション21自治体イニシャティブ・プログラム」への共催）

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：38～56

### (2) 見学会

- ・家庭の省エネに関する事業者の取り組みについての見学  
積水ハウス納得工房、パナソニック電工など

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：38・39・50・52・55・56

### (3) 機密書類リサイクル

- ・4月下旬（第6回）と10月下旬（第7回）の年2回開催
- ・参加事業者の拡大に向けて、第7回より豊中商工会議所とも連携して取り組みます

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：41・44・46・56・79

### (4) とよなか産業フェアとの連携

10月9日（土）に市民会館で開催される「とよなか産業フェア」（主催：豊中市）に、事業部会としても連携・協力を行います。

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：40・56・80

### (5) 新活動内容の検討・試行

事業部会として新たに行う取り組みについて、事業部会に参加している事業者が中心となって、検討・試行していきます

- ・事業者による環境学習の推進の検討  
子ども対象の環境学習など
- ・事業者と市民が一緒に取り組める活動の検討  
植樹活動や地域の清掃活動など

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：39・42・56・77・79・80

### (6) その他

- ・定例会の開催（年1～2回程度）
- ・団体会員や市内事業所の情報収集・ヒアリング・活動紹介など

＊関係する豊中アジェンダ21の行動提案項目：56・79・80・85・86

## 6. 交通部会

### (1) 交通環境学習

豊中自動車教習所と協力し、小学生・中学生・高校生やその保護者を対象に、自転車シュミレータ

ーなどを使った交通環境学習を行います。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：68・69・71・77

## (2) 自転車バランス王座決定戦

子どもたちを対象に、「自転車バランス王座決定戦」を市内のさまざまな行事等で開催するとともに、環境展にあわせて「自転車バランス王座決定戦」のチャンピオン大会を行います。このイベントを通して、子どもたちへ自転車利用の促進や利用のマナーを伝えていきます。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：68・69・71・77

## 7. 竹炭プロジェクト

活動拠点：千里中央公園、新千里北町1丁目（千里緑地）

### (1) 竹の間伐

新千里北町2丁目では2008年9月から間伐を行ってきましたが、2010年3月で終了しました。4月からは新千里北町1丁目の間伐を行います。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：21・22・23・24・25・27・34・36

### (2) 竹林整備

千里中央公園の安場池の上方にある側溝は土砂で埋まっていますが、掘り出して土砂流入除けの土留め作業を継続中して行います。同時に竹林の間伐や、枯木・倒木などの整理を行います。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：22・23・24・25・26・27・34・36

### (3) 竹炭焼き

間伐をした竹の有効活用として竹炭焼きを行っています。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：22・23・24・27

### (4) イベント参加

竹炭などの製品は市内のイベント（豊中まつり、環境展、くらしかん祭り、農業祭、スプリングフェスティバルなど）で頒布します。竹炭は消臭、浄水、園芸用など多方面に利用されています。

また、イベント時には、千里中央公園内の竹や桜の小枝、木の実を使って、自然工作指導や出前教室を行います。

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：22・23・24

## 8. 企画屋本舗

### (1) わがまちとよなか再発見！ちょっといいとよなか見つけにいこかウォーク

- ・第1回の“岡町あたりの能勢街道”から始まり10年を迎えました。これまでは豊中の自然、文化、歴史等の環境を楽しく知り、考えてもらうために「まち」を切り口にウォーキングを行いました。
- ・今年度は豊中を離れ、豊中の水源である琵琶湖あたりを訪ね、水資源や琵琶湖と淀川流域の自然や歴史、文化を学ぶ機会を持ちます。
- ・10年を契機に、これまでの“ちょっといい豊中”を再認識し記録集を作成します。

\*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：70・74・79・80・81・85

## (2) 環境びっくり箱 親子で楽しくエコツアー

・幼少時からの環境教育で重要な、体感や体験を通じて考えるツアーを継続します。

\*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：78・79・80・84・85

## (3) 定例会などの会議、その他作業等

事業計画の検討、打ち合わせ、準備作業

# 9. 花と緑のネットワークとよなか

## (1) 組織の基盤整備と強化の持続化

「パナソニック NPO サポートファンド」の助成採択を受けて基盤を整備することを前提に対応してきました。

具体的には、①人材の育成、②情報発信機能の強化・拡大、③事業に見合う付加価値の創出、④事務局機能の強化、⑤会員の拡大と会費問題の整理に置き、取り組んだ結果、一応の成果をあげ、あわせて今年度より専従の事務局員を配置する体制が整うことになりました。今年度はさらなる基盤整備と強化に向けて次のような体制構築を図ります。

- ・次の時代を担う人材の参加拡大と中心的担い手の育成（専従者を通じた組織の強化・拡大）
- ・ブログとホームページなどによる情報発信体制の刷新と強化
- ・活動と組織における進行管理（マネジメント）体制の確立
- ・地域における協働活動の拡大・発展

\*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：84・88

## (2) 食の循環事業の推進

「とよっぴー」を市内農業者の協力を得て田畑に使用することを通じ減農薬・減化学肥料栽培や、無農薬・無化学肥料などによる有機性栽培によって生産される作物類を地域で消費する活動（地産地消）の推進を図ります。とくに、くらしかん「地産地消」「さわ病院」における地産地消活動に取り組みの継続と、他場所での拡大を追求します。また、給食食材の地場産納入の推進に向けて、これまでの成果を持続させるため、引き続き関係者との連携を強めます。

- ・地産地消活動のさらなる強化・拡大
- ・イベント及び環境展での栽培作物の直産有償頒布活動の実施
- ・協力農家の拡大による給食食材（野菜）の納入拡大
- ・「食育基本計画」の推進に向けた活動連携

\*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：13・14・37・82・83

## (3) 花いっぱい運動の推進

地域の空地や公園等の土地空間を利用して「とよっぴー」を使った花栽培（花壇）のネットワーク（花いっぱい運動ネットワーク）の拡大を追求します。

- ・花いっぱい運動ネットワーク組織の拡大及び交流の強化（栽培学習等を補強）
- ・花の栽培を通じたコミュニケーションの深化と豊中アジェンダ 21 活動の普及
- ・花いっぱい運動写真展への応募と表彰制度の追求

- ・花いっぱい運動グループの賛助会員化

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：32・35・36・37・79・85

#### (4) 環境学習の推進

「とよっぴー」農園を活用した農体験型環境学習や緑と食品のリサイクルプラザの施設見学を通じた有機性資源の有効活用に関する啓発、環境学習を実施します。また、クリーンランド見学者に対する堆肥化事業の宣伝や小中学校等に出向した出前環境学習を「農と食」あるいは「堆肥化」を基軸に実施します。出前環境学習は学校等菜園支援の活動とリンクして推進します。

- ・「とよっぴー」農園を活用した多用で系統的な農と食の体験事業の実施
- ・小学生向け施設見学パワーポイントの新規作成
- ・「堆肥化ビデオ」の活用及び活動ビデオの新規作成
- ・「とよっぴー」紙芝居の活用と新規作成
- ・学校への出前講座教材作成（4年生：食品ごみと暮らし、5年生：米づくりと環境）と更新作業

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：36・76・77

#### (5) 循環型社会推進啓発活動の推進

緑と食品のリサイクルプラザ事業を核として有機性資源の有効活用を通じた資源循環型社会の形成のための活動を協働の観点強化しつつ推進します。

- ・「とよっぴー」の有効活用と活用者との連携
- ・食育の立場からの給食食材の地場産納入による食の循環活動
- ・地球温暖化防止の役割と生ごみ排出量の削減及び有機性資源の有効活用の促進のための堆肥化講習会の実施と堆肥化活動・活用助成制度の推進
- ・施設見学者に対する有効的な応接と説明による交流拡大及び環境学習の強化
- ・農体験型環境教育及び体験関係者に対する環境教育の実施
- ・楽しい野菜栽培講習会の開催

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：6・8・12・13・14・15・19・20・22・23・29・36・37・77・78・79・80・85・86

#### (6) 学校等菜園支援化事業の推進

小学校・幼稚園を対象に施設内菜園での作物栽培に関する支援を食育の観点から実施します。また、保育所等での同様の取り組みを検討します。

- ・菜園指導及び支援体制の確立（菜園支援）
- ・菜園支援を通じた環境教育の実践（教室内学習）
- ・学校等菜園支援化活動の総括書の作成

＊関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：13・14・20・36・77・78・83・84・85

#### (7) その他の活動

毎月1回（第2火曜日）に定例会を実施します。年次総会を毎年6月開催（事業報告・事業計画等）します。その他では年1回先進地の見学学習会を実施します。また、「とよっぴー」倶楽部の活動強化（賛助会員化）及び会員拡大を図ります。さらには、本年度も「とよっぴー祭り」を関係者と協働しながら開催します。

なお、学校菜園での稲作（お米づくり）支援を強化するため、組織自ら稲作（バケツ稲づくり含む）

の取り組みを実施します。

- ・温暖化防止の観点からの堆肥化システム現況の検証
- ・プロジェクト活動の記録編の作成に着手
- ・ゴーヤネット活動や落ち葉堆肥化モニター活動（プロジェクト）の実践
- ・緑と食品のリサイクルプラザ事業の総括を踏まえた新たな事業展開の模索
- ・入会案内パンフレットの作成と配布
- ・活動ボランティアの積極的勧誘

## 10. 地球温暖化対策プロジェクト

### (1) 「市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業」の実施

提案公募型委託制度により、豊中市と協働して 2010 年度は「市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業」として実施します。なお、このプロジェクトは、豊中市との契約内容だけでなく、地球温暖化対策という大きな視点を持ちつつ、他の部会・プロジェクトを横断し、連携しながら市民活動としてできることから進めていきます。また、事業を通して、市内の事業者や商店街との結びつきを強くし、ネットワークを広げていきます。

- ・「とよなか省エネマイスター制度」の運用
- ・豊中市内各所で省エネ相談会の開催（15 回程度）
- ・省エネマイスターが家庭へ訪問して行う省エネ診断の実施
- ・エコポイントチケット「とよか」の管理補助、精算補助
- ・エコポイントチケット「とよか」の配布対象活動の設定、「とよか」の配布
- ・事業実施による二酸化炭素削減量の把握
- ・「豊中市チャレンジマイナス 70 推進協議会」の運営（4 回程度）
- ・事業に関する広報・情報発信
- ・事業を通して、制度の実効性を高めるための改善策の検討

\*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：1・2・3・4・5・9・10・50・51・52・87

### (2) 定例会、その他

- ・定例会の開催（毎月 1 回）
- ・事業の実施だけでなく、プロジェクトとして独自に省エネに関する研究・情報収集

## 11. あい・あいプロジェクト（新規プロジェクト）

### (1) 体験型環境教育プログラムの作成と実施

広義の環境問題などについて「学びあい」、子どもたちに伝えていくことで教える側も共に「育ちあい」、若い世代の担い手が「つながりあい」していくことを目的としたプロジェクトを新たに設置しました。このプロジェクトでは、次世代の担い手となる若い世代が中心となり、環境問題や学びあいに関心のある同世代（若い世代）の担い手を広げていきます。このプロジェクトを通して、従来の活動を活性化し、組織としての次の展開に向けた起爆剤となるよう、積極的に取り組んでいきます。

- ・内容：広義の環境問題や持続可能な社会づくりについて学んだり、考えたりすることのできる環境教育プログラムを開発し、子どもたちへ伝えることで、子どもたちの学びへとつなげます。一方的に講義するのではなく、メンバーが教える側として学びながら実施していくことで、若い世代（大学生～小さい子どもがいる親世代）の担い手を育てます。

単にできあがったプログラムを提供するだけでなく、学校などのニーズに応じたプログラムと一緒に企画・実行します

- ・テーマ：くらしの視点、水のこと、地球温暖化などを通じた世界の環境のことなど
- ・対象：学校の授業での実施（子ども対象）  
地域でイベント的に開催（子ども対象・親子対象）
- ・その他：当法人の全体活動としての環境学習リストや、各部会・プロジェクトが実施している出前環境学習とは重ならないように配慮し、内容によっては連携して実施していきます

\*関係する豊中アジェンダ 21 の行動提案項目：76・77・80・82

## (2) 定例会、その他

- ・定例会の開催（年 5～6 回程度）
- ・プロジェクトへ若い世代の参加呼びかけ

(参考) 2010 年度 (平成 22 年度) 各部会・プロジェクトに参画する豊中市の部署

部会・プロジェクト	参画部署名
生活部会	環境部 環境政策室※
	環境部 廃棄物対策室 減量推進課
	市民生活部 消費生活課
	豊中市伊丹市クリーンランド
自然部会	環境部 公園みどり推進課※
	環境部 環境政策室
	土木部
事業部会	環境部 環境政策室※
	環境部 廃棄物対策室 減量推進課
	市民生活部 地域経済振興室
	豊中市伊丹市クリーンランド
交通部会	環境部 環境政策室※
	土木部
竹炭プロジェクト	環境部 公園みどり推進課※
企画屋本舗	環境部 環境政策室※
花と緑のネットワークとよなか	環境部 公園みどり推進課※
	環境部 廃棄物対策室 減量推進課
	豊中市伊丹市クリーンランド

※印：主担当

## 2010年度（平成22年度）収支予算書（案）

2010年（平成22年）4月1日～2011年（平成23年）3月31日

特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21

（単位 円）

科目	予算額(ア)	前年度予算額(イ)	増減(ア)-(イ)	備考
<b>I 収入の部</b>				
1 会費収入	800,000	950,000	△ 150,000	
個人会費	230,000	300,000	△ 70,000	1,000×230口
団体会費	570,000	650,000	△ 80,000	5,000×114口
2 事業収入	489,000	657,000	△ 168,000	参加費、頒布金等
3 助成金収入	243,000	265,000	△ 22,000	NEDO
4 寄付金収入	250,000	100,000	150,000	
5 負担金収入	7,300,000	10,488,040	△ 3,188,040	豊中市
6 受託事業収入	9,100,000	8,518,000	582,000	豊中市
7 堆肥頒布事業収入	1,300,000	1,300,000	0	
8 雑収入	5,000	5,000	0	預金利子等
当期収入合計(A)	19,487,000	22,283,040	△ 2,796,040	
前期繰越収支差額	2,619,083	1,378,889	1,240,194	
収入合計(B)	22,106,083	23,661,929	△ 1,555,846	
<b>II 支出の部</b>				
1 一般事業費				
外注費	696,000	746,000	△ 50,000	環境展等
諸謝金	948,000	771,000	177,000	
賃借料	476,000	402,000	74,000	会場費等
消耗什器備品費	131,000	434,500	△ 303,500	
印刷費	1,457,500	1,663,600	△ 206,100	
通信運搬費	495,400	517,540	△ 22,140	
事務消耗品費	216,500	336,000	△ 119,500	
旅費交通費	1,721,000	1,952,100	△ 231,100	
保険料	57,000	58,000	△ 1,000	
雑費	75,600	114,000	△ 38,400	振込手数料等
労務費	4,550,000	5,620,000	△ 1,070,000	温暖化対策費用を含む
一般事業費計	10,824,000	12,614,740	△ 1,790,740	
2 堆肥頒布事業費	1,300,000	1,300,000	0	
3 管理費				
賃金手当	8,240,000	8,200,000	40,000	職員2名
福利厚生費	22,000	22,000	0	事務局用お茶代等
賃借料	175,000	170,000	5,000	コピー機リース代
消耗什器備品費	40,000	40,000	0	事務局備品等
印刷費	220,000	220,000	0	コピー代等
通信運搬費	150,000	130,000	20,000	電話、送料、プロバイダ等
事務消耗品費	120,000	140,000	△ 20,000	文具、紙類等
旅費交通費	3,000	5,000	△ 2,000	
保険料	40,000	40,000	0	ボランティア保険
雑費	20,000	20,000	0	手数料、印紙等
管理費計	9,030,000	8,987,000	43,000	
4 予備費	952,083	760,189	191,894	
当期支出合計(C)	22,106,083	23,661,929	△ 1,555,846	
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,619,083	△ 1,378,889	△ 1,240,194	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	



特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21  
新役員名簿（案）

(50音順)

役職	ふりがな 氏名	所属等	備考
理事 (15人)	いのうえ かずひこ 井上 和彦	地球温暖化対策プロジェクト	
	いばらき こ 茨木 かづ子	事業部会、花と緑のネットワークとよなか	
	うえだ みねこ 上田 峯子	自然部会	
	おくの すすむ 奥野 享	生活部会	
	かきもと しゅういち 柿本 修一	自然部会	新任
	さがわ ただし 佐川 直史	事業部会	新任
	ささき ただひろ 佐々木 忠弘	自然部会	
	しんかい えつこ 新開 悦子	生活部会、企画屋本舗	
	たかしま くにこ 高島 邦子	花と緑のネットワークとよなか	
	なかい たけし 中井 健之	企画屋本舗	監事→理事
	ひろた まなぶ 廣田 学	事務局長	
	まつい きよたけ 松井 清武	事業部会（大阪北生活協同組合）	
	みやけ しろう 三宅 史郎	竹炭プロジェクト、自然部会	
	みやた たけし 宮田 健	生活部会	
やまもと かずお 山本 一夫	交通部会（豊中自動車教習所）	新任	
監事 (2人)	いとう ただし 伊藤 格	竹炭プロジェクト	新任
	なかむら よしよ 中村 義世	花と緑のネットワークとよなか、交通部会	理事→監事

任期：2010年6月16日～2012年度総会開催日

# 特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ21 定款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21(略称NPO法人エコ市民豊中)という。英語名をToyonaka Citizens Environmental Conference AGENDA21とする。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を大阪府豊中市曽根南町1丁目4番3号 豊中市環境情報サロン内に置く。

(目的)

第3条 この法人は、地域社会とそこに生活する市民、さらには未来を担う世代のために、安心して暮らせる環境が確保できるよう、かけがえのない地球環境の形成とやさしさに溢れた地域社会を目指した「豊中市環境基本計画」の理念及び目標と一致する市民活動計画である「豊中アジェンダ21」の推進を図ることを通じて、持続的発展が可能な地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(活動に係る種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、特定非営利活動促進法(以下「法」という。)

第2条別表中、次の各号に掲げる特定非営利活動を行う。

- ①環境の保全を図る活動
- ②まちづくりの推進を図る活動
- ③社会教育の推進を図る活動
- ④学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- ⑤子どもの健全育成を図る活動
- ⑥地域安全活動
- ⑦国際協力の活動
- ⑧経済活動の活性化を図る活動
- ⑨消費者の保護を図る活動
- ⑩前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業に係る種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

### 1 特定非営利活動に係る事業

- ①環境の保全に関する調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ②環境と調和し共生したライフスタイルの調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ③環境と調和した持続的発展が可能な地域社会を創造するための調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ④環境と調和したまちづくり推進のための調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ⑤環境教育の推進に関する調査研究及び実践並びに啓発普及の事業
- ⑥環境活動を通じた子どもの健全育成に関する調査研究及び実践の事業
- ⑦環境保全活動に関する国際交流や国際協力の事業
- ⑧地域の安全、文化などにおける分野での環境に関する政策の提言及び政策推進の事業

### 2 その他目的を達成するために必要な活動

## 第2章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって法上の社員とする。

- ①正会員  
第3条に規定する目的に賛同して入会した個人又は団体。
- ②賛助会員  
第3条に規定する目的に賛同して、この法人の事業を援助する個人又は団体。
- ③特別会員  
第3条に規定する目的に賛同して、この法人の健全な発展と政策立案並びに諸活動に関し、助言・協力する学識経験者等の個人で理事会が推薦する者。

(入会)

第7条 正会員又は賛助会員として入会しようとする者は、その旨を記載した入会申込書を理事長に提出し、その承諾を受けなければならない。

2 理事長は、前項の申し込みについては、正当な理由がない限り入会を認めることとするが、入会を認めない場合は、理事会の承認を経た上で、その理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

3 理事会から特別会員に推薦された者は、入会の手続きを必要とせず、本人の承諾をもって会員となる。

(会費)

第8条 正会員及び賛助会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

2 会員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、退会したものとみなすことができる。

①本人が死亡又は会員である団体が消滅したとき。

②会費を1年以上滞納し、相当の期間を定め催告してもこれに応じず、理事会において支払いの意思がないと認定した者。

(除名)

第10条 会員が次の各号のいずれかに該当する場合は、総会において社員総数の3分の2以上の議決により除名することができる。

ただし、その会員に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。

①法令又はこの法人の定款に違反したとき。

②この法人の秩序を著しく害し、又は、公序良俗に反する行為をしたとき。

③この法人の名誉を棄損し、又は設立の目的に違反する行為をしたとき。

(会費などの不返還)

第11条 この法人は、すでに会員が納入した会費及びその他の抛出金品はその理由を問わず、これを返還しない。

### 第3章 役員

(役員の種類及び定数)

第12条 この法人に次の役員を置く。

①理事 13人以上 20人以内

②監事 2人以上 3人以内

(役員を選任)

第13条 役員は、総会において正会員又は正会員である団体の代表者の中から選任する。

2 理事のうち、1人を理事長、2人以内を副理事長とする。

3 理事長及び副理事長は理事の中から互選により定める。

4 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が、役員総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

5 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

(職務)

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総括する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき、又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によりその職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

4 監事は、次に掲げる業務を行うものとし、その執行にあたって必要なときはいつでも理事に対して報告を求め、調査することができる。

①理事の業務執行の状況を監査すること。

②この法人の財産の状況を監査すること。

③前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又

- は大阪府知事に報告すること。
- ④前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
  - ⑤理事の業務執行状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

(任期)

- 第 15 条 役員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 補欠又は増員により再任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
  - 3 前 2 項の規定にかかわらず、任期の末日において後任の役員が選出されていないときは、その任期を、任期の末日後、最初の社員総会が終結するまで伸長する。

(欠員補充)

- 第 16 条 理事又は監事のうち、その定数の 3 分の 1 を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

- 第 17 条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会の議決に基づいて解任することができる。
- ただし、その役員に対し議決の前に弁明の機会を与えなければならない。
- ①心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
  - ②職務上の義務違反、その他役員として相応しくない行為があると認められるとき。

(役員報酬)

- 第 18 条 役員は、その総数の 3 分の 1 以下の範囲内で報酬を受けることができる。
- 2 役員には、その業務執行に必要な費用を支弁することができる。
  - 3 前 2 項に関し必要な事項は、予算の範囲内で理事会の議決を経て別に定める。

(顧問)

- 第 19 条 役員の外に、顧問を置くことができる。
- 2 顧問は理事会において選任する。
  - 3 顧問の任期は 2 年とする。
  - 4 顧問は、理事長より相談ごとの申請があれば、その解決のために努力する。

## 第 4 章 総会

(総会)

- 第 20 条 総会は、この法人の最高の意思決定機関であって正会員をもって構成する。
- 2 総会は、通常総会と臨時総会とする。

(総会の機能)

- 第 21 条 総会は以下の事項について議決する。
- ①定款の変更
  - ②解散及び合併
  - ③事業計画及び収支予算の承諾
  - ④事業報告及び収支決算の承諾
  - ⑤役員の選任又は解任、及び職務
  - ⑥会費の額
  - ⑦長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄
  - ⑧その他理事会において重要と認め報告された事項
  - ⑨その他運営に関する重要事項

(開催)

- 第 22 条 通常総会は、毎年 1 回開催とする。
- 2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。
    - ①理事会が必要と認めたとき。
    - ②正会員の 5 分の 1 以上から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。
    - ③監事が第 14 条第 4 項第 4 号の規定により招集したとき。

(総会の招集)

- 第 23 条 総会は、前条第 2 項第 3 号の場合を除き理事長が招集する。

- 2 理事長は前条第2項第2号の規定による請求があった場合は、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第24条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選任する。

(総会の定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

- 第26条 総会における議決事項は、第23条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。
- 2 総会の議決事項はこの定款に規定するもののほか、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
  - 3 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議決に加わることはできない。

(総会における議決権等)

- 第27条 正会員の議決権は、1人又は1団体につき、1単位とする。
- 2 やむをえない理由のため、総会に出席できない正会員は、あらかじめ書面をもって議決し、又は他の正会員を代理人として議決を委任することができる。
  - 3 前項の場合における前2条の規定の適用については、その正会員は総会に出席したものとみなす。

(議事録)

- 第28条 総会の議事については、次に掲げる事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。
- ①日時及び場所
  - ②正会員の現在数
  - ③出席した正会員の数（書面表決者及び表決委任者については、その旨を明記すること）
  - ④審議事項及び議決事項
  - ⑤議事の経過の概要及びその結果
  - ⑥議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、その会議において出席した正会員の中から選任された議事録署名人2人以上が、議長とともに署名押印しなければならない。

## 第5章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

- 第30条 この定款で別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。
- ①総会に付すべき事項
  - ②総会の議決した事項の執行に関する事項
  - ③その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(理事会の開催)

- 第31条 理事会は、次の各号のいずれか該当する場合に開催する。
- ①理事長が必要と認めたとき。
  - ②理事現在数の4分の1以上の理事から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。

(招集)

- 第32条 理事会は、理事長が招集する。
- 2 理事会を招集するときは、審議に付すべき事項並びに日時及び場所を示した書面をもって、少なくとも開催日の5日前までに、理事に対し、通知しなければならない。

ただし、全理事の出席と同意がある場合は、この招集手続きを経ずして直ちに開催することができる。

(議長)

第 33 条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(議決等)

第 34 条 理事会は、理事現在数の過半数以上の出席がなければ開会することができない。  
2 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席理事の過半数をもって決する。

(議事録)

第 35 条 理事会の議事については、議長において議事録を作成し、議長及び出席理事の中から選任された議事録署名人 1 人が署名押印する。

## 第 6 章 特別理事会及び委員会設置等

(特別理事会)

第 36 条 第 6 条第 3 号で定める特別会員により、この法人の事業活動並びに活動計画等を専門的立場から検証・評価・提案するための機関として、特別理事会を設置することができる。  
2 特別理事会の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会において定める。

(委員会等)

第 37 条 理事会は、事業の円滑な執行を図るため、委員会、研究会又は部会及びプロジェクト（以下「委員会等」という。）を設置することができる。  
2 委員会等は、その目的とする事項について、調査研究、又は事業を執行する。  
3 委員会等の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において定める。

## 第 7 章 資産、会計及び事業計画

(資産の構成)

第 38 条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。  
①財産目録に記載された財産  
②会費  
③寄附金品及び助成金  
④財産から生じる収入  
⑤事業に伴う収入  
⑥その他の収入

(資産の管理)

第 39 条 資産は理事会の議決を経て理事長が管理し、その方法は、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第 40 条 この法人の会計は、法第 27 条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(経費の支弁)

第 41 条 この法人の経費は、資産をもって支弁する。

(特別会計)

第 42 条 この法人の会計は、必要に応じて特別会計を設けることができる。

(事業計画及び予算)

第 43 条 この法人の事業計画及び収支予算は、理事長が作成し、総会の承諾を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。  
2 予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、前項の規定にかかわらず、理事会の議決を経て、予算の追加又は更正することができる。  
ただし、追加又は更正した予算は、直近の総会で報告しなければならない。

(予備費の設定及び使用)

第 44 条 前条に規定する予算には、予算経過又は予算外の支出に充てるため、予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第 45 条 第 43 条の規定にかかわらず、やむを得ない事由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じて収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第 46 条 理事長は、毎事業年度終了後 3 ヶ月以内に、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支決算書を作成し、監事の監査を経て、総会の承諾を得なければならない。

2 会計の決算上、剰余金が生じたときは、翌事業年度の繰り越すものとし、構成員に分配してはならない。

(臨機の措置)

第 47 条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借り入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

(事業年度)

第 48 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

## 第 8 章 事務局

(設置)

第 49 条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

1 事務局には、事務局長とその他の職員を置くことができる。

2 事務局の職員は、理事長が任命する。

3 理事は事務局長、若しくは事務局員を兼任することができる。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において定める。

(備置き書類)

第 50 条 事務局は主たる事務所において、特定非営利活動促進法第 28 条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかななければならない。

① 会員名簿及び会員の異動に関する書類

② 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類

## 第 9 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 51 条 この定款の変更は、総会に出席した正会員の 4 分の 3 以上の多数による議決を経なければならない。

(解散)

第 52 条 この法人は、次に掲げる事由によって解散する。

① 総会の決議

② 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能

③ 正会員の欠亡

④ 合併

⑤ 破産

⑥ 大阪府知事による設立の認証の取り消し

2 前項第 1 号の事由による解散に関する議事は、正会員総数の 3 分の 2 以上の議決を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第 53 条 この法人が解散したとき（合併又は破産による解散を除く）に有する残余財産は、総会の議決を経て、次の各号のいずれかに該当するものに譲渡する。

① 特定非営利活動法人

②民法第 34 条に規定により設立された法人

(合併)

第 54 条 第 52 条第 2 項規定は、合併に関する事項に準用する。

## 第 10 章 雑則

(公告)

第 55 条 この法人の公告は主たる事務所に掲示するほか、官報により行う。

(委任)

第 56 条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附則

- 1 この定款は、この法人の設立の日から施行する。
- 2 この法人の設立時の会費は、第 8 条の規定にかかわらず、次の各号に掲げるものとする。
  - ①正会員

個人	会費年額一口	1, 000 円
団体	会費年額一口	5, 000 円
  - ②賛助会員

個人	会費年額一口	1, 000 円
団体	会費年額一口	5, 000 円
- 3 この法人の設立当初の役員並びに役職は、第 13 条第 1 項及び第 3 項の規定にかかわらず、次に掲げるとおりとし、その任期は第 15 条第 1 項の規定にかかわらず 2004 年（平成 16 年）6 月 30 日までとする。
  - ①理事長  
河野猪太夫
  - ②副理事長  
茨木かづ子、新開 悦子
  - ③理事  
上田 峯子、易 信子、大岡 一馬、奥野 享、高島 邦子、中村 義世  
堀 正恒、水野 辰彦、三宅 史郎、宮田 健、山本 和子、山口 壽
  - ④監事  
今井 文子、中井 健之
- 4 この法人の設立年度の事業計画及び収支予算は、第 43 条第 1 項の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。
- 5 この法人の設立初年度の事業年度は、第 48 条の規定にかかわらず、成立の日から平成 16（2004）年 3 月 31 日までとする。

特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21

設立代表者氏名 河野猪太夫

平成 16 年 6 月 25 日改正

平成 18 年 6 月 21 日改正



## 「豊中アジェンダ 21」 88 項目の行動提案

### 第1章 地球温暖化の防止と省資源・循環の暮らし

中項目	番号	行動提案
二酸化炭素排出量の削減	1	二酸化炭素排出量を4～5%削減（1990年基準）を目指そう
	2	使い終わった電気製品は必ず主電源を切ろう
	3	冷房温度は28度に、暖房温度は20度を目安にしよう
	4	エコライフカレンダー（豊中市民版環境家計簿）をつけて二酸化炭素排出を減らそう
	5	省エネに配慮した家造りを普及しよう
ごみの発生・排出の抑制	6	暮らしを見直しごみを減らし再資源化を促進しよう
	7	使える衣料品、道具、家具はバザーやフリーマーケットに出そう
	8	クリーンランドや緑と食品のリサイクルプラザ、下水処理場などを見学し、廃棄の後も考えよう
	9	買い物袋を持参しよう
	10	ばら売りや量り売りの店を利用し環境に配慮した買い物をしよう
	11	もったいない精神を大切にするとともに、スローライフな文化を育てよう
資源循環	12	買いすぎや食べ残しをなくし、家庭や事業所で食品リサイクルを進めるなど、食品をごみとして捨てないようなシステムを作ろう
	13	農薬や化学肥料をできるだけ使わない環境保全型農業を支援しよう
	14	野菜や果物などの食料は地場産のもの、旬のものを食卓にのせよう
水	15	食用油はできるだけ使い切り、下水に流さないようにしよう
	16	洗たくや打ち水、植木の水やりには風呂の残り湯や雨水を利用しよう
	17	歯を磨いている間は水道の水を止めるなど、洗面、炊事、洗車などの節水に努めよう
化学物質	18	健康への影響が危惧される有害な製品の使用は避けよう
	19	環境負荷の少ない家庭・事業所の営みを進めよう
食育	20	健康増進や食文化向上のための食育活動を推進しよう

### 第2章 自然のゆたかな豊中にしていこう

中項目	番号	行動提案
親しみ学ぶ	21	豊中市内の身近な自然を調べ、情報を交流し合おう
	22	キャンプや野遊びなど、子どもたちが自然体験できる場を増やそう
	23	農家などと交流し、体験を通して農業や林業を身近なものにしよう
守り育てる	24	みどりの多い公園や社寺林の自然に親しみ、守り育てよう
	25	多くの生き物たちがすむ島熊山や待兼山などの里山を大切にしよう
	26	池の大切さを見直し、安らぎとうるおいをもたらすため池を残そう
	27	市民の共有財産である街路樹、公園の樹木の維持管理や川の清掃に参加しよう
	28	地下水や湧き水を大切にしよう
	29	市民農園をつくり農地を守ろう
	30	宅地を造成したり、建物を建てるときは、もとの地形や自然を活かそう
	31	庭や敷地の土の面はできるだけ多く残して、雨が地面にしみ込むようにしよう

造り広げる	32	近所のみどりの達人から草木を育てる楽しさを学ぼう
	33	公園や街角にビオトープをつくり、トンボや野鳥を呼び戻そう
	34	水辺や昔からある木や草の茂った公園をつくり、みどりを広げよう
	35	ベランダや庭、生垣など少しの隙間のみどりで埋めよう
自然に生きる	36	落ち葉や剪定枝は燃やさず、堆肥にしよう
	37	樹木や草花への殺虫剤の使用は控えよう

### 第3章 環境問題に配慮した事業活動を進めよう

中項目	番号	行動提案
企業の心がけ	38	ISO14001、EA21、エコステージ、KES などの環境マネジメントシステムを導入しよう
	39	従業員に環境情報を知らせ環境教育の充実をはかろう
	40	自社の環境への取り組み情報を市民に公開しよう
	41	化学物質の処理や廃棄物処理など環境基準の法規制を遵守した事業活動を行なおう
	42	工場や事業所の周辺およびベランダや屋上、壁面の緑化を進め、緑のまちづくりに貢献しよう
	43	事業所は、資源の地域回収システムづくりに協力、参加しよう
省資源・リサイクル（廃棄物の削減）	44	事業所にリサイクルを目的としたごみの分別システムをつくろう
	45	事業所にコピー用紙、FAX 用普通紙、印刷用紙などの裏面を利用するシステムをつくろう
	46	廃棄物として捨てていたものを、資源として循環利用するシステムづくりを検討していこう
	47	事業所の生産活動を見直して、原材料の使用量削減と工程廃棄物の削減に取り組もう
	48	製品の使用後の再資源化を考慮して、原材料や部材の検討を行なおう
	49	節水型の器具を使用して水の使用量の削減に努め、雨水利用のシステムを導入しよう
省エネ	50	事業所の電気・ガス・石油類のエネルギー使用量を節約してコスト削減にもつなげよう
	51	インバータ式の蛍光灯に替えるなど、省エネタイプの器具への切り替えを検討しよう
	52	建物に、太陽光発電などの自然エネルギーの導入を進めよう
グリーン購入	53	自社のグリーン購入リストの作成に努めるなど、事業所で物品を購入する場合は、グリーン購入を積極的に進めよう
	54	省エネ型で、リサイクルルートが確立されている製品を優先的に購入しよう
CSR（企業の社会的責任）	55	「エコオフィス活動チェックリスト」をつけるなどしてオフィスの環境度を調べよう
	56	経営と環境配慮を両立させ、先進的に環境に取り組む事業所を目指そう

### 第4章 環境問題に配慮した交通のあり方を考えよう

中項目	番号	行動提案
低公害車の導入	57	車の購入を考えるとときは、より低公害な車を選ぼう
	58	低公害車導入に向けたエコステーションの整備を推進しよう
公共交通機関の利用促進	59	公共交通機関の利用ができる場所は、マイカーの利用を控えよう
	60	利用しやすく効率の良い公共交通システムへの改善・整備を進めよう

エコドライブ	61	経済速度での走行を心がけよう
	62	アイドリングストップを実行しよう
	63	急発進・急加速をやめて、アクセルを踏む量が一定になるような運転、マニュアル車での早めのシフトアップやAT車のエンブレキの活用などを心がけよう
	64	余分な機器の電源は切り、エアコンの使用もひかえよう
	65	荷物もガソリンを食べます。車を倉庫代わりにしないようにしよう
	66	燃費向上のため、定期的な点検・整備とタイヤの空気圧の点検をしよう
	67	事前に地図などで走行経路を調べ、無駄な走行を減らそう
気軽に安全で楽しく歩けるまちづくり＋TDM（交通需要マネジメント）	68	自転車走りやすい道づくりを進めよう
	69	自転車利用の促進とレンタサイクルの普及を図ろう
	70	車いす、ベビーカーにやさしい道のある豊中のまちをつくろう
	71	自転車利用のマナーを守ろう
	72	車の走行を妨げ、渋滞や事故の原因となるような駐停車はやめよう
	73	健康と環境のために、ちょっとした距離なら歩こう
	74	積極的にまちづくりに参加して、歩いて楽しいまちをみんなで作ろう
共同	75	共同集配システムなどの効率的な輸送方法を考えよう（荷物も相乗りさせよう）

#### 第5章 パートナースhipで地球環境を守ろう

中項目	番号	行動提案
環境学習	76	PTA・公民館講座などでも環境学習を進めよう
	77	学校における環境教育を進めよう
	78	とよなか市民環境会議アジェンダ 21 主催の学習会などに参加しよう
ネットワーク	79	一人ひとりや一つの団体ではできないことでも、ネットワークで実現しよう
	80	地球環境を守るため、あらゆる世代の人、個人も事業所も、それぞれのアイデア・情報を出し合おう
	81	身近な地域の資源マップや環境マップを作成して、暮らしの改善・まちづくりに役立てよう
共生・連携	82	生産活動や消費行動の環境影響を広い視野で考えて、他者（次世代、他地域、他の生物など）に責任を押しつけないようにしよう
	83	環境問題やまちづくりなどに取り組む人々が交流しあう拠点を活用しよう
情報交換	84	市民・事業所・行政、学校や公民館と協力して、環境データのネットワークをつくろう
PR	85	豊中アジェンダ 21 を多くの人・企業にPRしよう
地域活性化	86	とよなか市民環境会議の活動を活発にしよう
	87	エコマネー（地域通貨）の取り組み組織をつくろう
財政	88	NPO とよなか市民環境会議アジェンダ 21 の財政基盤や環境基金を整えよう